

隠岐の地誌『増補隠州記』(1688)の分析

溝 口 常 俊

I はじめに

本稿は、貞享5年(1688)に記された隠岐の地誌『増補隠州記』¹⁾の内容を紹介し、近世における地域研究の一助に資するものである。筆者は、近世あるいは明治初期において、全国統一規模での調査はされていないものの、一国規模の広がりて編纂されている地理書に注目し、村落単位で記載されている基本的な情報を忠実、かつ多角的に読みとり、計量化、地図化を心がけてきた。計量化、地図化が最終目標ではなく、こうすることによって、単なる一村落に限った研究を超え、村落比較、村落間関係を明らかにし、その史的展開を重視した地域構造史研究へと進むことを目的としている。

こうした問題意識のもと、筆者は『寛文村々覚書』(1672)、および『尾張殉行記』(1822)を読み『江戸期なごやアトラス』²⁾を上梓し、目下、その続編として『江戸期尾張アトラス』を作成中であり、同時に明治2年『美濃国村々明細帳』、明治14年『岐阜県各郡町村略誌』のデータベースを構築している。隠岐の地誌『増補隠州記』の分析はこうした一連の作業の一コマである。

II 『増補隠州記』の記載内容

隠岐は島前とうぜんと島後とうごに分かれており、前者は海士郡ちぶと知夫郡ちぶの2郡13ヶ村、後者は越智郡おちと周吉郡すきの2郡49ヶ村からなっている。現在の行政区画では、島前の海士郡は海士町(中ノ島)、知夫郡は知夫村(知夫里島)と西ノ島町(西ノ島)、島後の越智郡は都方村つま、五箇村、周吉郡は西郷町、布施村にあたる。

本稿で取り上げる貞享期の郷村集成である『増補隠州記』は、全国的に農村経済の転換期に直面して、幕府財政が悪化していたころに作成されたものである。幕府は、天領からの年貢収納量を増加させるために、まず地方行政官の腐敗肅正に乗りだし、貞享4年(1687)6月勘定組頭に全国総代官の会計検査を命じた。こうして編まれた『増補隠州記』は、貞享5年6月両島公文が立合って作成し、松江藩派遣の郡代代官の点検を受けている。彼らは編集完了までは隠岐に留まり、貞享5年7月大森代官が赴任して引き継ぎを終わってから帰藩した。永海一正によれば、基礎資料は貞享4年の「郷帳」であり、たぶん前年の勘定組頭の命令ではじめた隠岐の会計(行政)総点検作業であって、そのまま引き継ぎ資料となったわけであろう、としている³⁾。

この『増補隠州記』の記載内容を、最初に登場する海士郡海士村の場合を例として次に紹介しよう。

島前二郡之内海士郡

海士村・公文 助九郎

年寄 平左衛門、兵右衛門、吉右衛門

- 一、高千七拾石式斗八升式合 本田畑
 内七百七拾壺石七斗式合 田方
 此反五拾七町四反壺畝拾五歩 平シ壺石三斗四升四合七勺余
 式百九拾八石五斗八升 畑方
 此反百八拾七町五反九畝拾八歩 平シ壺斗五升九合式勺内
 内
 式拾三石 田方寺領
 拾八石六斗九升六合 田方定引公文給共
 三斗九升九合 畑方萬定引
 四拾式石九升六合
 残高千式拾八石壺斗八升七合 有高
 一、高拾壺石壺斗四升九合 新田
 此反壺町三反八畝廿七歩 平シ八斗二合六勺六才余
 一、面判銀六拾七匁 小物成竈役銀
 一、同銀三拾九匁 漁請役
 一、同銀拾六匁八分 鱒拾四本役
 一、同銀壺匁老分 海苔壺斗六升役
 一、同銀式匁八分 大鯛拾四枚役
 一、同銀式匁八分 柄油壺斗四升役
 一、同銀五匁式分 核苧壺貫九百八拾目役
 一、同銀四拾式匁 牛皮式拾壺枚役
 一、米四斗 串鮑壺連八串役
 一、米壺斗四升七合 串海鼠式連式串役
 一、家数百拾五軒 内六拾七軒百姓 四拾八軒間脇 此内六拾七軒御役目屋敷
 一、人数九百拾四人 内男四百三拾壺人 女四百六拾五人
 坊主拾式人 禪門四人 比丘尼式人
 一、牛馬四百六拾五疋 内牛百拾四疋 馬三百五拾壺疋
 一、弓三張、鎧四筋、鉄砲拾挺 貞享五辰五月御取上ケ鉄砲ニ成ル
 一、勝田山 源福寺 寺領式拾石 真言宗
 本郷御札之辻三町、良方、去テ寺有り、・・・(以下、略)
 一、後鳥羽院ノ御陵 勝田山、仁王門ノ内石甃を上ル、・・・(以下、略)
 一、松尾山金光寺 真言宗、本尊地藏名作の由
 一、富春山安国寺 真言宗、本尊観音名作の由并名不動在寺領三石
 一、最勝寺 真言宗、本尊薬師
 一、極楽寺 浄土宗、延宝年中ノ大破
 一、正源寺 真宗、古来ハ蓮光寺と申せしか、中比ノ正源寺ニ改ル
 一、神光寺 浄土宗、前々ノ住持無之由、道心者禪門往来故ニ、寺共云うかたし
 一、神宮寺 山伏
 一、諏訪大明神 鉄砲三挺寄進筒、貞享五辰五月御改、
 一、新宮権現 惣社権現、渡大明神、十二社権現、一ノ宮大明神、天神、神宮権現鉄砲壺挺寄進筒

- 一、海士村本郷ハ北分、寺分ノ内森東分、凡当初ハ四ヶ村也、西分
- 一、本郷ハ北へ六町去テ北分之村内ニ、峯ノ地藏と云テ在リ
- 一、教開寺、北分、村之人家ノ外れニ在、今ハ道心者住ス、弘法大師を安置ス、後鳥羽院の御作也と云伝
- 一、本郷ハ末申ノ方四町去テ郡山と云所ニ、念仏堂壺字有リ
- 一、三郎島 東ノ島周リ七拾九間、高サ貳拾間、中ノ島周リ五拾間、高サ拾貳間、西ノ島周リ四拾間、高サ六間、海ノ深サ七尋
- 一、二勝島(説明略)
- 一、多田浦(説明略)
- 一、海士郡境之事、豊田村海辺ハ崎村の出崎迄、南北三里三町五拾三間、又云、海士村蔵本ハ、知々井ノ内保々美浦迄東西、長サ廿壺町廿五間在りと云也
- 一、当初ハ道積リ、西ハ福井村迄、貳拾五町廿間也、長ハ豊田まで三拾壺町三十間、南ハ知々井村迄廿壺町廿五間也、別府御代官屋ノ前御札ノ辻迄舟路壺里也、
- 一、御制札場 公文家ノ前、大道ノ傍、岸ノ上ニ在リ、
- 一、飛鳥井少将 慶長十三年ニ遠島有テ、海士村ニ住居、寛文貳年四月十六日病死、七人扶持、大豆壺石三斗五升六合、味噌入用、丁銀貳百六拾目、御仕着せ銀同銀三匁九分、塩六俵代、同銀三匁三分、柄油壺斗五升代、庭夫壺人、壺日京榭四合宛、
- 二代目国松後ニ号左門、延宝七未、十一月六日病死 御扶持方雑用銀無相違被下
- 三代目藤若 御扶持方雑用銀無相違被下、但シ延宝八年申九月二日、嚴有院様就御法事御赦免、御扶持方、雑用銀被召上
- 一、慶法院 祖立 此両僧ハ明暦貳年申五月十七日病死、祖立ハ延宝四年辰ノ二月二日ニ病死貳人扶持宛被下
- 一、雨堤五ツ
- 一、漁 鯛、鱒、烏賊、鮑、生海鼠、飛魚、和布、荒和布、海苔、鯖、此外雑魚等

こうした記載内容を各村別にデータベース化したのが本論文末尾の付表1～8である。

Ⅲ 中世隠岐の村落社会構造

本稿で対象とする近世隠岐の村落について、その前史をpushさえるために、まず中世隠岐の村落社会構造を三橋時雄の『隠岐牧畑の歴史的研究』¹⁾ および田中豊治の『隠岐島の歴史地理学的研究』²⁾ を参照しつつ概観しておきたい。

中世隠岐の村落社会を特色づける性格の一つは自然村落そのものが生産及び村落生活の基盤ではなく、より広い地域的結合のもとで社会経済生活が維持されてきたことである。鎌倉武家政権が誕生した翌年の建久4年(1193)に、隠岐に地頭職が置かれ、佐々木定綱が一円拝領してから、以後天正10年(1582)に毛利氏の支配下に属するまで、代々佐々木氏の治めるところとなった。在地支配は在地の土豪を、徴税者、領主権力代行者として「公文」に任命した。公文の支配範囲は自然村落のいくつか集合した「惣」であった。例えば、知夫島にあっては、その生産の場は牧畑で、島全体が4区画され、各自然村落は農業経営に関して独自の土地占取、土地利用はなく、島全体が4年周期とする輪転耕作の統制下で維持されていた。ここでは公文(肝煎)の命のもとに牧司(牧畑の管理人)が惣全体の農業管理に当たった。こうした仕組みが一部近世にも残った。例えば、西ノ島の浦郷は、本郷、赤之江、珍崎、三度の地域的に隔絶した地区に集村立地してい

たが、本土や島後の村のように近世村としては独立せずに、自然村を統合して浦郷村として近代に及んだ。知夫や浦郷が、数個の自然村落を統合して惣村として成立存続したのは、全くその経済的基盤が牧畑経営を基盤としていたからである、と田中氏は説く。

戦国時代毛利氏の支配の後、慶長5年(1600)に遠州浜松から堀尾吉晴が出雲・隠岐に転封され、忠氏、忠晴と3代続いた。その後寛永15年(1638)に幕府は隠岐を直轄領(天領)とし、これを松江藩預けとし、松江藩からは郡代・代官が派遣されて隠岐の行政にあたった。全島検地が完成したのは慶長18年(1613)で、牧畑が全島に普及しており、田畑合わせた検地高は1万1千石余とされた。屋敷請は御免屋敷と御役目屋敷に大別され、夫役免除が御免屋敷で、村役人、寺、社、特殊職業者(大工、鍛冶等)などがこれにあたる。一方御役目屋敷とは夫役を負担する(御役目)百姓で、反対給付として一律に3畝ずつ与えられる。この1軒役の夫役を負担するのが本百姓である。この役屋体制(夫役負担体系)から高請体制に基準を置く本百姓・水呑体制に編成替されたのは承応年間(1652-54)である。つまり徴税が村高に賦課され、農民の持高によってその負担が割賦されるようになったのである。

こうした支配体制が強化された時代に、隠岐の土地、村境が余すところ無く調べ上げられた。例えば仕置役人岸崎佐久治の手による『田法記』(寛文6年)、郡代として赴任した斉藤勘助の『隠州視聴合記』(寛文7年)などがあり、本稿で取り上げる貞享期の郷村集成である『増補隠州記』もその1つである。

IV 近世村落の立地と村高

1. 村落の立地

近世になって土地、村境が調べられ支配体制が強化されると、中世時に自然村の枠を超えた広域的結合のもとで社会経済生活が維持されてきたという構図が、明らかに村切りされた自然村(藩政村)中心の生活に変質していくのである。こうした村落が近世隠岐には、4島合わせて59ヶ村立地している(図1)⁶⁾。この内、島前3島の13ヶ村すべてと、島後46ヶ村中33ヶ村は海に接しており、山がちの内陸村は島後の13ヶ村にすぎない。とはいえ、島の中に海と直接接しない山村的性格をもつ村々が存在していることは注目してよく、海村/山村という区分で村落比較を行った。その結果は、島前/島後のそれと共に付表1-8に載せておいた。

次に集落形態であるが、もっとも数が多いという点で典型的といえるのが、背後を山に囲まれて海に面した単一の集村であり、その数は39ヶ村にのぼった。島後の海岸沿いのほとんどがこの形態をとっている。それに対して1つの集村を核としつつも若干離れたところに小規模な枝郷をもつ村も相当数(16ヶ村)あり、島前3島のほとんどの村落がこれに当たる。これらに対し島後の周吉郡南部に基幹集落の他は1軒ないしは数軒が散在する形の村が若干みられた。

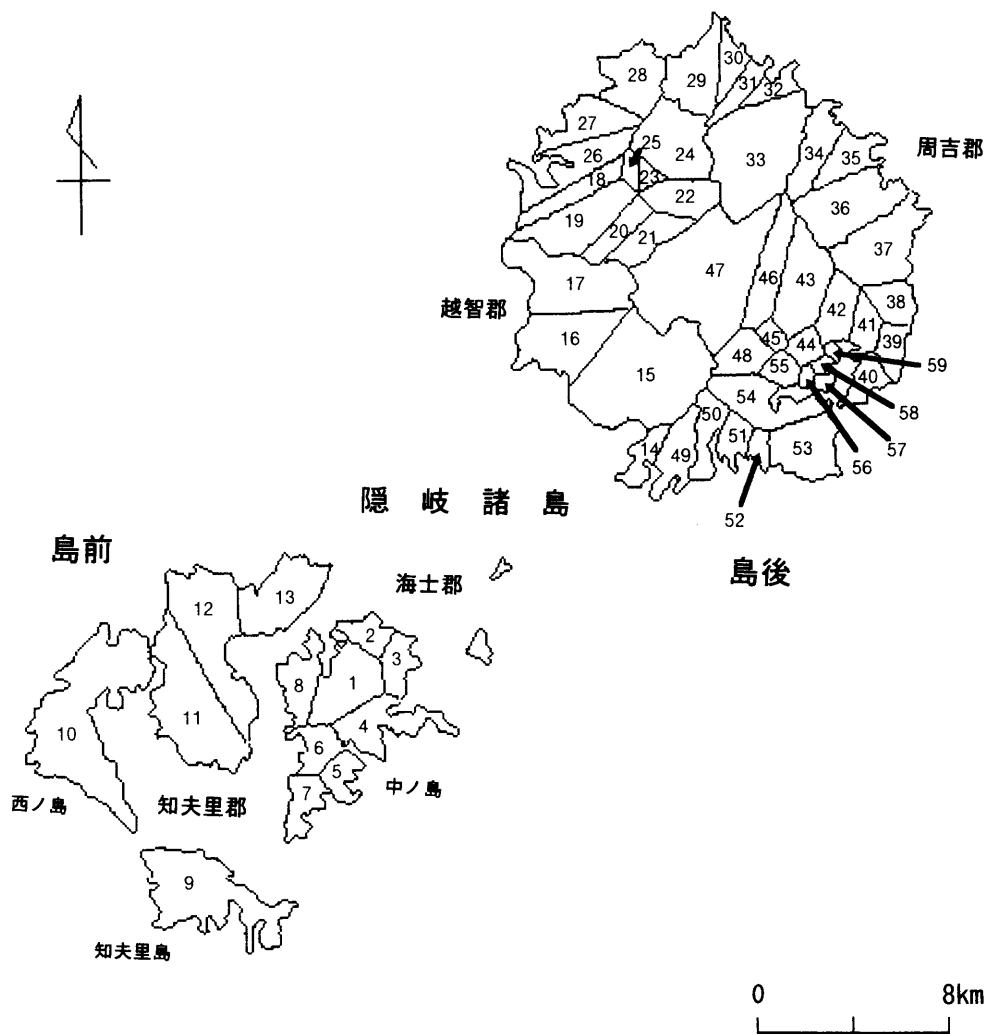


図1 隠岐の村落(貞享5年)
村落名は付表1-8に照合

2. 村高

近世村落の土地を基準とした評価として村高があり、その規模でもって村落規模を検討してみよう(付表1)。隠岐全59ヶ村の1村平均は203石7斗であるが、最大3ヶ村、最小3ヶ村をそれぞれ挙げると、最大1位が浦之郷(#10)の1186.2石、2位が海士村(#1)の1081.4石、3位が知夫里村(#9)の863.7石で、これらはいずれも島前の3島それぞれに属する村である。最小1位は岸浜(#52)の9.1石、2位は箕浦(#51)の11.9石、そして3位は飯美(#34)の20.3石で島後の海村である(図2)。

村高を、先に示した 集落立地（海村、山村）で比較すると、海村（46ヶ村）の1村平均石高は216.7石で山村（13ヶ村）のそれは157.6石と50石もの開きがある。本州の平野村から比べれば、可耕地面積の少ない島嶼の村高は極めて乏しい訳であるが、その島嶼であっても海岸添いの海村はまだましで、島の中の山村は極貧を強いられているように見える。次に、単一集落村（18ヶ村）と複数集落村（41ヶ村）とを比較すると、前者は117.0石、後者は401.3石となり、当然の事ながら枝郷を合わせ持っている村落の村高の方が大きい。ただ、枝郷を1村としてカウントして石高を除すると、その平均は123.2石となりほぼ単一集落村と同じ石高規模となる。これら単一村を自然村と見なすならば、隠岐の自然村の規模は石高換算ではほぼ120石相当の村落としてよからう。

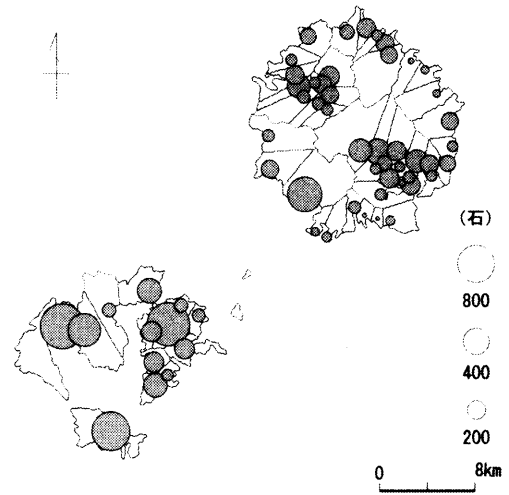


図2 村高

V 戸数・人口

1. 戸数

1村平均の戸数（家数）は55.7戸で、これは戦前の日本の平均的農業集落規模とはほぼ同様である（付表3）。その家がさらに百姓と間脇（水呑）に区分して書かれており、その比率こそ多少の差があるものの、1村（一宮#25：百姓12戸、間脇0戸）を除いてすべての村に両者が混住していた（図3）。比較的初期の時代に本百姓と水呑という2つの階層の百姓から各村落が構成、運営されていたことは注目しておいてよからう。本州でよくきかれるように18世紀中頃から本百姓の一部が没落して水呑に没落していく経過をとった地域とは異なっている。

基本的には本百姓数が間脇数より多いが、中には少数の本百姓が多数の間脇を抱えている村もある。特にその傾向が強いのが西ノ島

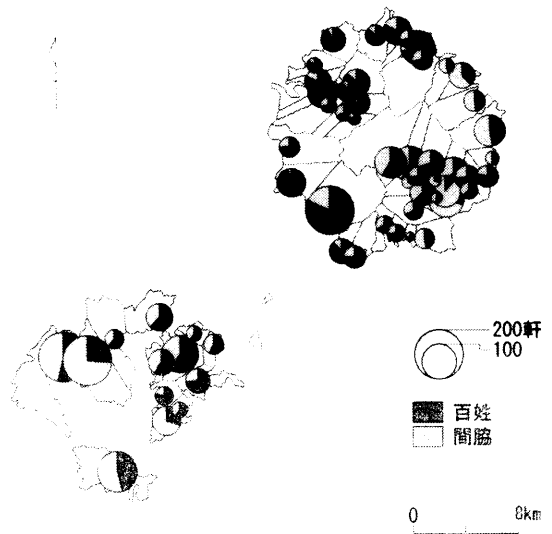


図3 百姓と間脇

の中心地浦之郷村#10(53戸対149戸)であり、島後の玄関ともいえる矢尾村#57(31戸対74戸:現在の西郷)である。全村の中で最も都市的集落に顕著であることは、非農業的な百姓が多いことのあらわれであろう。

各村には本百姓、間脇の上に立つ公文とその補佐役にあたる2, 3人の年寄がいた。公文は中世荘園時代の荘官の名前が、そのまま徳川時代にまで持越されたものであり、村落内の最上層を占め、屋敷地においても、本百姓が3畝であるのに対し、公文は8畝以上の御免屋敷をもっていた。その職が世襲であることは勿論、役給としては、世襲財産である土地を公文給として貰い、これを本百姓から1年に5日ずつの賦役労働(公事)によって耕作し、その収穫はすべて公文の所得となった。また、1月1日、3月3日、5月5日、7月7日、9月9日のいわゆる5節句には、本百姓はすべて麻の袴を着て、公文役宅へ賀辞を陳べに行かねばならなかった⁷⁾。こうした中世的遺制が貞享期にまだ残っていたのであって、公文という名称が消え他地方と同様の庄屋になるのは元禄4年(1691)までまたねばならなかった。なお、世襲制の強い公文に対して年寄は本百姓の中の上層民が廻りもちであったという⁸⁾。

ここに一つ興味深い記載がある。それは「家数」の内訳の「百姓」と「間脇」数の後に、「御役目屋敷」軒数が記されていることである。三橋時雄の本百姓についての説明の箇所にかこうある。「本百姓を意味する百姓は、また役百姓といったことがわかる。この役百姓というのは、役儀(公事)を負担する百姓という意味で、御役目屋敷を持つ役屋百姓のことである」、これに対して間脇については「間脇は明らかに身分的に百姓と区別されている。したがって間脇とは身分的に百姓より低い者の呼称で、漁民とか商売人のような非農業者の中に多く、・・・このようにして、間脇は農耕に従事する限りにおいては、他人の田畑を耕さねばならず、したがって権利は少なく、義務もまた多くはなかった」⁹⁾となると、御役目屋敷は百姓の軒数と一致するかそれ以下でなければならない。それを隠岐全村でチェックしてみると(付表3)、御役目屋敷数=百姓数の村: 8ヶ村、御役目屋敷数<百姓数の村: 42ヶ村、そして御役目屋敷数>百姓数の村: 7ヶ村となり、後者の百姓数を御役目屋敷数が上回る7ヶ村(豊田#3、崎#7、美田#11、宇賀#13、大久#37、矢尾#57、目貫#58)で百姓以外の、すなわち間脇に御役目屋敷が与えられていたことになる。

かくして、百姓と間脇を厳格に区分して役屋体制が成立していたという三橋の歴史的見解に訂正を求めねばならないであろう。少なくとも、この時期(貞享期)にはその体制がくずれ、百姓だけでは御役を勤められなくなり、間脇層に経済的にも社会的にも実力がアップした、百姓層に匹敵する家が出現していたことを認めておきたい。後述するが、これら7ヶ村はいずれも漁請役が非常に多い村であり、間脇層が農外の漁業で相当の収入を得ていたことと関係していよう。

2. 人口

人数の記載は男性、女性に加えて、坊主、禪門、道心者、神主、比丘女、座頭および山伏の合計数で書かれている。坊主は全村59ヶ村中48ヶ村に登場し1村平均3.0人(最大は海土村#1の12人)、

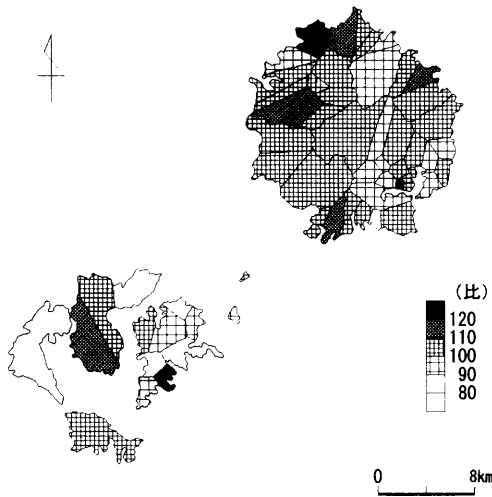


図4 性比

禅門は30ヶ村、平均1.0人（最大は美田村#11の5人）で他はいずれも半数以下の村にしか姿をみせず、したがって1村平均も1人未満である。ただ、これら宗教関係者が1人もいない村はわずか3村にしかすぎない。地域的な分布においては、知夫里島、西ノ島諸村に道心者が集中して存在しているのが目立つ。

男女数を性比（女性100人に対する男性数）で示すと、全村平均では102.1と若干男性が多い島ということになる（図4）。この時代、一般的に日本の農村では男性数が1割以上勝るのが普通であるので、それに比べれば女性が比較的多い地域と言えよう。島の中であえて地域的な差異を認めるとすれば、島前に女性が多く（96.1）、島後に男性が多い（103.9）といえるし、漁業・海運に関係の深い村落（船5艘以上所有）39ヶ村とそうでない村落20ヶ村とでは、後者の105.8に対して前者は100.3となり、前者で女性の数が相対的に多い。海難で男性が亡くなるというのはよくあることで、それが原因なのか、あるいは海女漁とまではいかないが漁業活動に女性労働が必要なのか、明確な理由はわからないが、漁業・海運業が性比に何らかの影響を与えているのではないかと思う。

1戸当たり世帯員数を示すと、隠岐全村での1村当たりの数は5.5人で、これはかなり少ないといったらよかろう。村別の格差はほとんどなく、7.0人を越えるのは海士郡の海士村、宇津賀村と周吉郡の平村3ヶ村に過ぎず、逆に少ない方でも4.0人を切る村は1村もなかった。同じ島ということで享保11年（1724）の屋久島（約10人）と比較するとその半分にすぎない¹⁹⁾。傍系家族が同居していた屋久島のほうがむしろ例外といえるが、隠岐にはそのような複合家族構成はみられなかったようである。人口密度は村境が正確でないため明らかにしえないが、その代用として田畑面積（反）当りの人口を算出してみると、全村平均は丁度反当り1人であったが、広大な畑地（牧畑）の多い島前の村（0.3人／反）とそうでない島後の村（1.2人／反）では大きな差がみられた。

3. 牛馬

隠岐の典型的農業経営に牧畑があり、近世はその全盛期であった。その牧畑に欠かせないのが4年に1度の休閑地を利用しての牛馬の放牧である。それ故、隠岐には牛馬が多い。牛、馬のどちらが多いかということ、若干牛が多いとはいえ馬も多く、全島で牛3,687頭、馬2,971頭数えられた。これらがすべての村で飼育されていたのであり（図5）、1村平均は牛62.5頭、馬50.4頭、

さらにこれを1戸当りに換算すると、各百姓世帯が牛、馬各1頭所有していたことになる。地域的に見れば西ノ島、知夫里島ではほぼ全村で、中ノ島では海士村、そして島後の隠岐島では北東から南西にかけての島を横断する諸村で牛馬合わせて200頭以上飼育していた。島前で牛馬を生産し足腰を鍛え、草野豊富な島後で肥育するのが古くからの慣例であったようだ¹¹⁾。

三橋時雄は、寛文2年(1662)の元屋村差出帳をもとに、4軒の間脇(無高)以外の百姓は、全部が、そして僧侶、神主までも牛馬を飼養していることを示した。その中にあって公文、年寄、役人などの上層部は、飼養頭

数が多くなっていることから、これらの者が名子、間脇等の隷属農民を従えて、地主手作的経営を行っていたのではなかろうか、と推測している¹²⁾。この推測を良しとするならば、年代的にもそれほど経っていない貞享5年(1688)において、その牛馬数がそれぞれ35匹、25匹であり、それは寛文2年同村の牛28匹、馬28匹とほとんど変わっていないことから、貞享期にも同じ様な経営が行われていたものと考えられよう。

ただ、その後元禄期ころから、牧畑も雑穀作よりは牧場として、内地の農村地帯への役牛供給を目的とした子牛生産をおこなうことに重点が置かれるようになり、隠岐の牛も次第に島外へ商品として販売されるようになっていった¹³⁾。

VI 生産基盤

1. 農業

1) 田畑

田畑には本田と新田があり、全島総計中97%が本田で新田は3%であった。本田の中で田畑面積を比較すると、総面積36,979反中水田は15%に過ぎず、85%が畑地であった。畑地の詳細は明らかにされていないが、その多くが丘陵地を利用した牧畑であったことは間違いない。牧畑という言葉は、隠岐の場合、いろいろな意味に使われるが、狭義には、施肥農業のおこなわれる普通の畑地(年々畑・麻畑)とは別に、その外側にあつて、ある季節には作物(大豆・小豆・大麦・小麦・粟・稗など)を栽培し、他の季節には牛馬を放牧するというふうに、耕作と放牧とが輪転する、いわゆる耕作輪転農法のおこなわれる畑地(このばあい畑は山とも牧ともいわれる)のことで、しいてはそのような耕作(畑)と放牧(牧)とを交互に輪転する牧畑式ともいべき農業

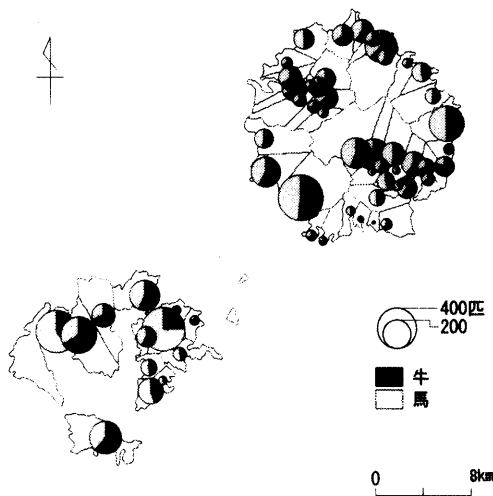


図5 牛馬

経営方式をも意味する¹⁴⁾。時代はさがるが、寛政7年(1795)の郷帳によれば隠岐全島で田高、牧畑高、麻畑高、上畑高が記されており、それぞれ4,453石、5,093石、118石、31石とある¹⁵⁾。反当たり石高は水田が畑地より高いので、面積を比較したら水田より畑地の方がかなり多く見込まれ、その中において圧倒的面积を牧畑が占めていたことになる。

さて、貞享5年(1688)の本田畑を村別にみたのが図6である。島前(海士郡・知夫里郡)の村々の方が島後(越智郡・周吉郡)よりも田畑面積が多く、かつ畑地(牧畑)が広く展開していたことがわかる。前者13ヶ村の1村平均田・畑が水田は、規模は小さいもの

の、有る程度の河川が居住地を流れる村落に、多くみられた。島前の海士村(#1)574反、島後の都万村(#15)509反、原田村(#46)260反などである。しかし、少ないとはいえ、すべての村落が水田を開いていたことは、稲作志向の強さの現れでもあろう。

2) 新田畑

隠岐では、天正19年(1591)に太閤検地、別府村だけに残る慶長4年(1599)検地、堀尾時代に入ってから、いわゆる古検といわれる島後で実施された慶長12年検地および島前での慶長18年検地があるが、松江藩へ預け地となった寛永15年(1638)時点での田畑を本田畑、それから後の検地で加えられたのを新田畑と呼んだ¹⁶⁾。貞享5年までに開かれた新田は本・新田総計のわずか3%に過ぎない。しかし、ほとんどすべての村で新田畑が開かれたことは注目される(付表2)。新田が1筆も開けなかったのは宇屋村(#59)のみ、新畑が全く開けなかったのは海士村(#1)他13ヶ村にすぎなかった。牧畑の多い島前の知々井(#4)、崎(#7)などの村では水田よりも畑地を開く傾向が強く、逆に島後では重栖川河口の南方村(#18)や八尾川中流の原田村(#46)など河川低地の水田化が目立った

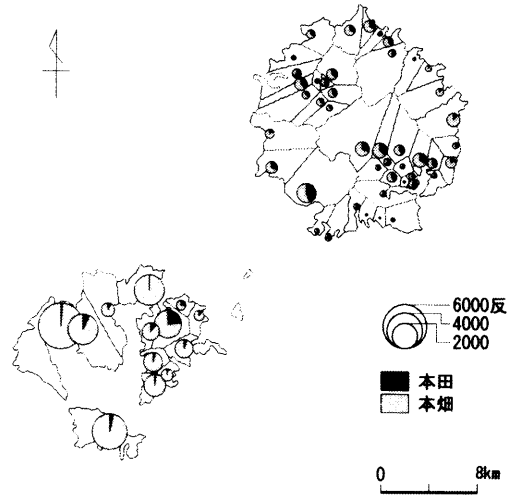


図6 田畑

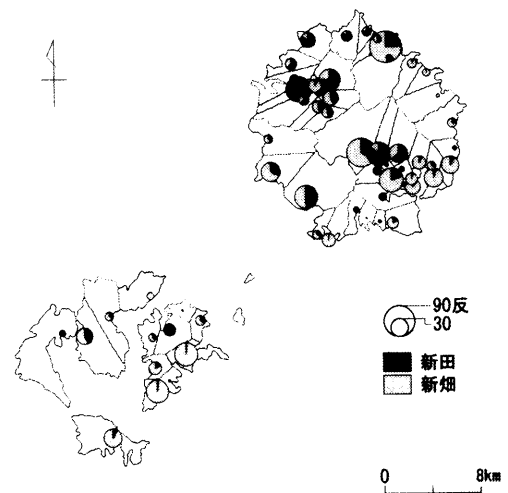


図7 新田畑

(図7)。

3) 農産物

租税の対象として米・麦・雑穀が納められていたが、その量は『増補隠州記』からは不明である。ここでは小物成(雑税)として、農業関係の品目をあげ(付表6、7)、その分布を村別に見てみよう。まず、核芋^{こきよ}役(麻)は島全村に課せられており、麻栽培が盛んであったことがうかがわれる(図8)。油役は、柄油^{からあぶら}(椿油)と絞油(菜種油)の2種類あって、前者は島前の中・西ノ島および島後の北部諸村(図9)、

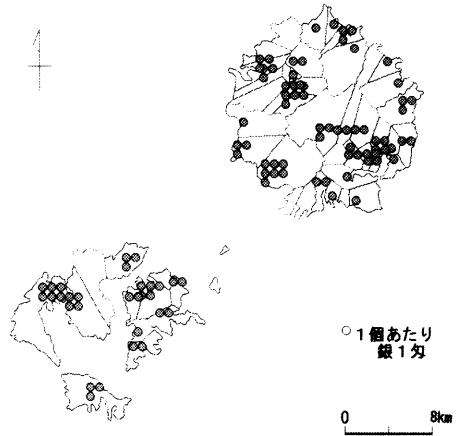


図8 核芋

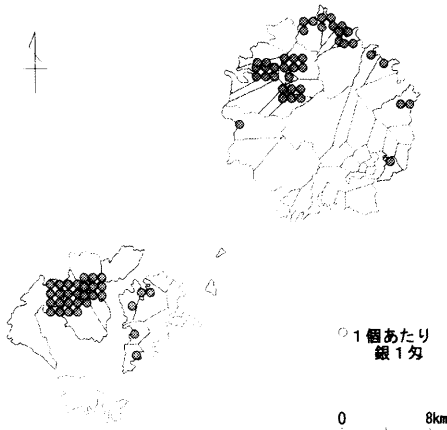


図9 柄油

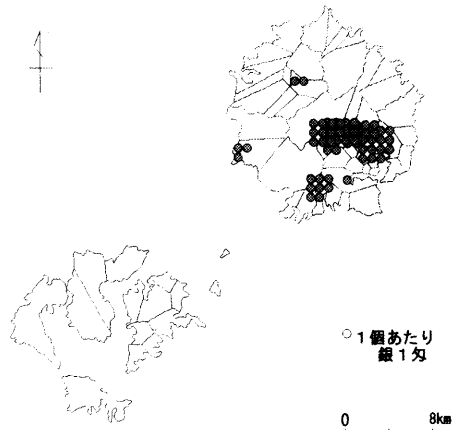


図10 絞油

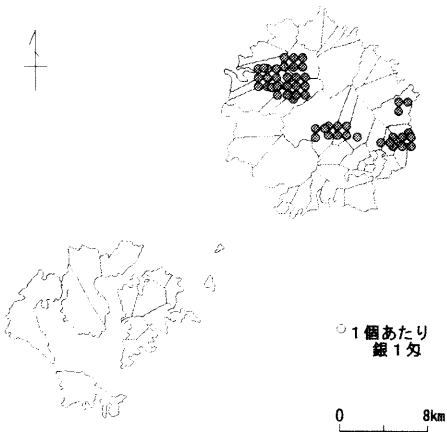


図11 茶

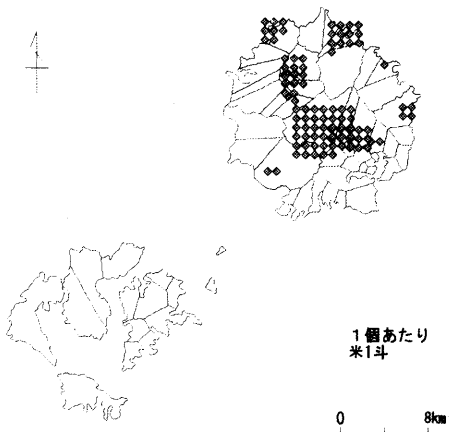


図12 漆

後者は島後の南部諸村に特化して見られた(図10)。茶役(図11)と漆役(図12)はともに島後の山地部諸村に多く見られた。その他に椎の実役と山椒役があったが、前者は島前の美田村(#11)1ヶ村のみ、後者は島後の那久村(#16)にのみ課せられていた。

2. 漁業

隠岐の生業の主役は、牛馬を利用した牧畑とならんで漁業であったことは、その小物成が詳細を極めていることからわかる(付表5、6、7)。まず、営業税としての漁請役を村別に示すと、もっとも高額税を負担していたのが西之島の浦之郷(#10)で銀200匁、続いて島後の南端の小さな岬に立地する津戸村(#14)が173匁、その東隣の同じような岬に位置する蛸木村(#50)が146匁であった。後2者の農業基盤は極貧で田畑総面積がそれぞれ90反、111反(隠岐全島の平均は645反)を示すに過ぎず、それ故漁業への依存度が高い(図13)。

以下、記載順に漁業関係の小物成を村別分布図として示しておこう。鰯(図14)、鰯(図15)、鯖(図16)、飛魚(図17)、海苔(図18)、大鯛(図19)、鯛(図20)、切鮑(第20図)、鯛(図22)、串鮑(図23)、串海鼠(図24)、和布(図25)、および山手塩(図26)である。こうして並べてみると、隠岐の中で海産物の主産地形成がかなり明確になされていることがわかる。鰯と飛魚は浦之郷村、鰯は中之島全村と島後南端諸村、鯛は中之島の崎村(#7)と島後の大久村(#37)と久見村(#28)、串鮑は中之島全村、知夫里村(#9)、島後西部諸村というように分かれていた。そんな中で和布は大半の海村で産出されていた。塩は島前の美田村(#11)と島後の12の海村で役銀が納められていたが、東北部の4ヶ村は次のような記載があることから生産中止の状態であった。飯美村(#34)：塩釜壺口 但、釜床ハ四拾五年巳前大破シ、塩焼されとも役塩ハ上ル、布施村(#35)、卯敷村(#36)、大久村(#37)：塩釜壺口、近年不焼、役塩ハ上納致ス。

古代、延喜式に隠岐では干鮑、煎海鼠、鯛、海苔などがみられ、近世になってこれらは長崎俵物として隠岐の代表的な水産物であった。塩が広範に産出されていることは塩漬けにして魚介類を長持ちさせる為にも必要であったことがうかがえる。長崎俵物の他に、鰯は米子、境市場を拠点として美作、備中に、塩鯖は若狭方面から近江、尾張地方に市場を広め、飛魚はその淡泊な味が京都、伊勢で好評を博したという¹⁷⁾。

実際にどのような魚がなされていたかを、村別に示したのが付表8で、漁業に携わっている村はおよそ10種類くらいの魚貝類もしくは海藻をとっていたようである。魚貝別にいくつかの村が漁をしていたかを示すと、烏賊がもっとも多

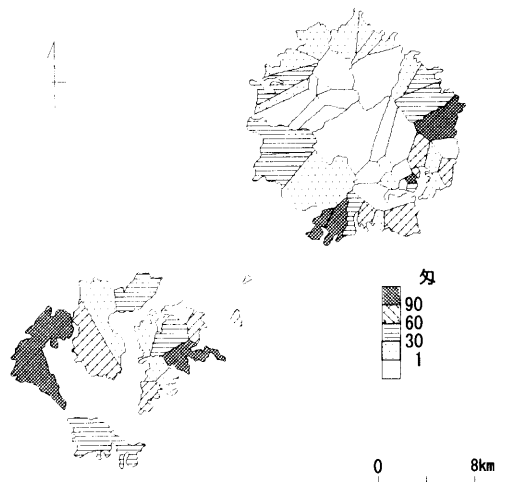


図13 漁請役

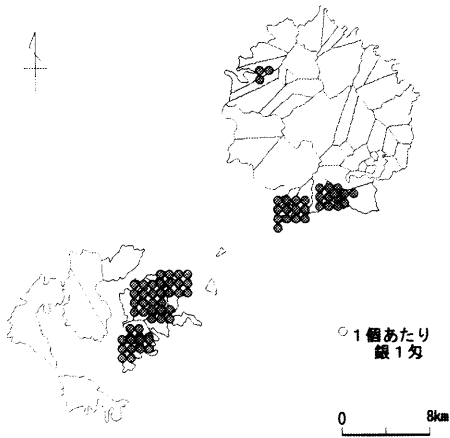


図14 鱒

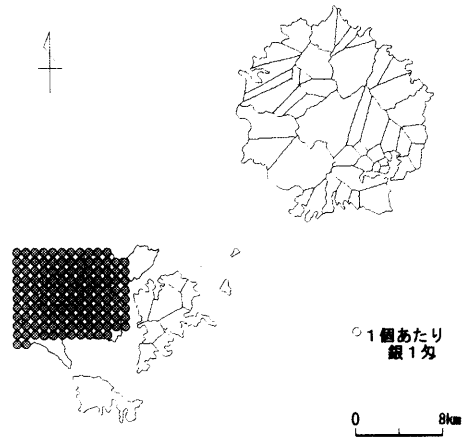


図15 鱒

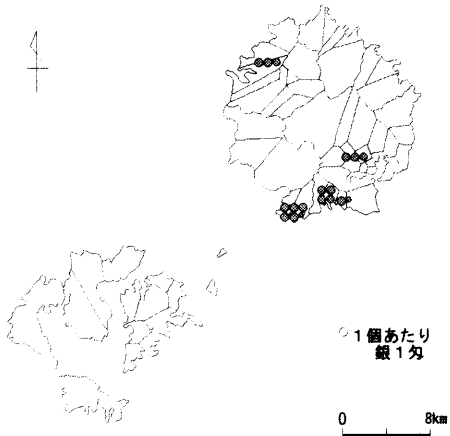


図16 鱒

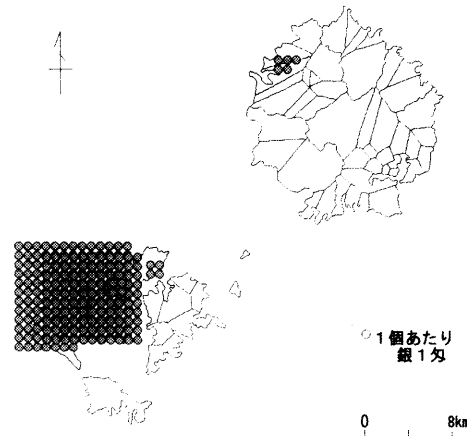


図17 飛魚

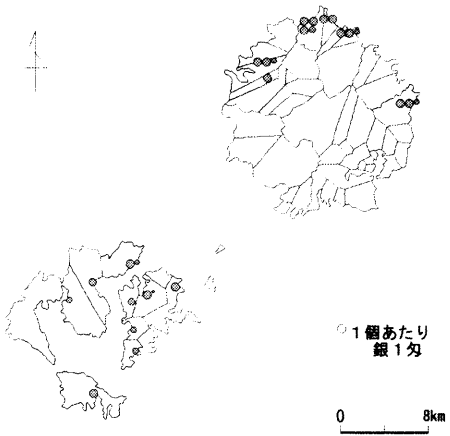


図18 海苔

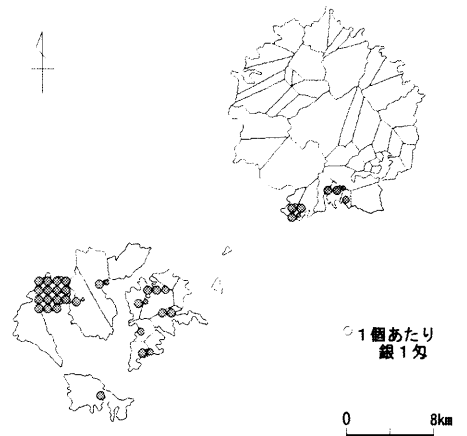


図19 大鯛 5 5 %

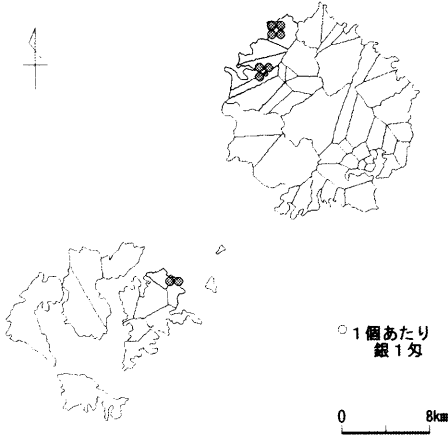


図20 鯛

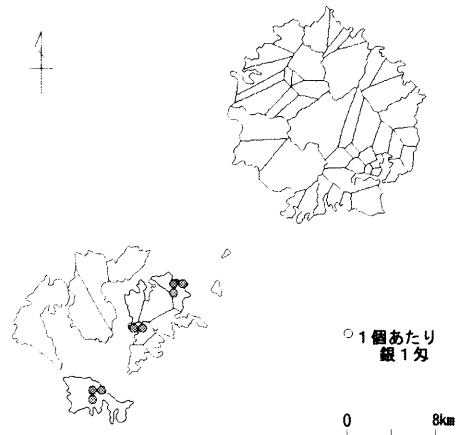


図21 切鮑

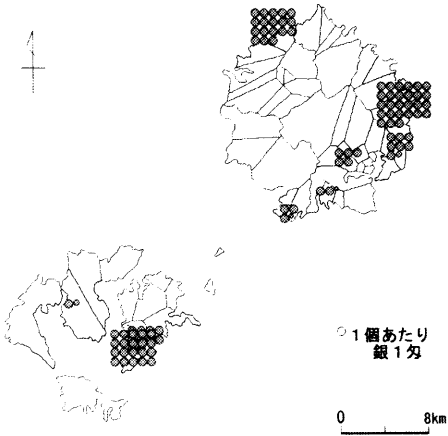


図22 鯛

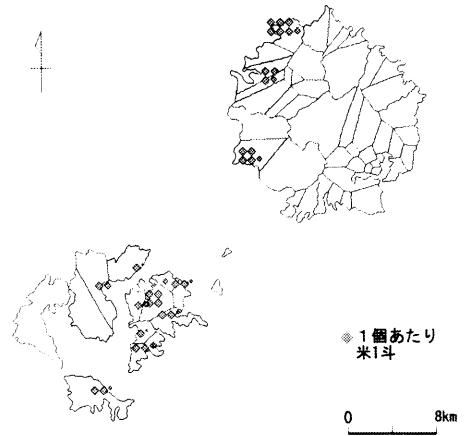


図23 串鮑

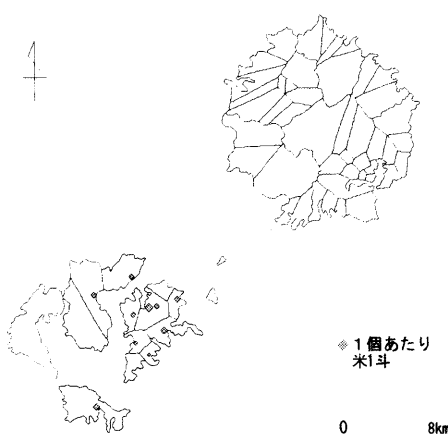


図24 串海鼠

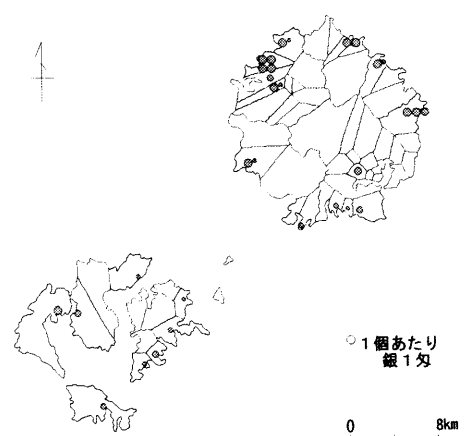


図25 和布

く39ヶ村、鯖が33ヶ村、飛魚と昆布がともに29ヶ村、鰯が26ヶ村、鯛と海苔が25ヶ村、雑魚が23ヶ村、荒和布が22ヶ村、海鼠が19ヶ村で、以下、鯖網敷ささえと栄螺かきが9ヶ村、鮎はまぐり、鰻ししみ、鯛うぐいが2ヶ村、そして蛤、蛭、鰯が1ヶ村となっていた。



3. 林業

日本の島で、山の無い島は無い。海に面し、わずかばかりの平野があって其の背後に広範な山地が控えている。それ故に、島の生業は漁業、農業、林業が共存しているのが普通であった。隠岐も例外では無く、林業もしくは山に関わる仕事をしていた。一例を示そう。島後の布施村(#35)には次のように記載されている。

一、山林 長壺里拾四町 幅壺里九町

家里ヨリ南ノ奥ニ、杉、椴、萬雑木、南谷、中谷、北谷とて在、(中略)、古来ヨリ良木多シ、今ハ半ハ尽たりといへとも、外の山林よりは茂レリ、松、椴、雑木、薪、材木伐出、商売ニ仕と、寛文九西ノ七月江戸へ書上ル

このように、いずれの村も材木は寛文時代以前に半ば、あるいは悉く尽きたとし、貞享時代現在には薪のみ伐り出して商売するか(卯敷村#36、有木村#43など)、あるいは薪も稀なり(東郷村#42、平村#48など)という村ばかりで、森林資源は枯渇し本格的な林業村は姿を消していた。ところが林業の好不調は数十年サイクルの波があるのか、18世紀に入ったところから牧畑が森林化されだしたことにより活性化していった。元禄期(1688-1703)の『隠岐国村鑑帳』に「稼ニ男ハ農業の間に材木・薪伐出し雲州、伯州、長州、越前へ、椎茸少宛雲州へ売、櫛ノ実生候年ニハ近国へ売」とあり、販売用の林産物が多くなってきた¹⁸⁾。宝永4年(1707)には吉野地方から隠岐へ杉種子が移入され、享保期(1716-1735)には私有林が植林され始めた¹⁹⁾。さらに、近世末期には木材の商品化がすすみ、島後の布施村、飯美村、卯敷村、大久村は地下山(部落有林)の計画的経営にのり出し、享保年間から地下山の計画伐出、後には前3者が合併して新布施村を形成し、林業立村の実をあげたという²⁰⁾。

こうした島後に対して牧畑化が進んでいた島前諸村は、例えば浦之郷村(#10)に「山林無シ、薪稀也」とあるように林業はほとんどみられなかった。



図26 山手塩

4. 皮革業・回船業

1) 皮革業

牛馬飼育地であるから皮革製造も早くからあり、『隠州諸式年代記』（島根県立図書館蔵）によると、慶長15年に和泉国堺の田中新兵衛、儀兵衛、仁兵衛が時の領主堀尾山城守に運上納し、西郷町要記で製革に当たったが幾日もなくして廃業した。しかし、運上金は村々に肩代わりされ、小物成りの中に牛皮役として賦課された²¹⁾。貞享5年における村別の牛皮役を示したのが付表6であり、図27である。牧畑の盛んであった島前諸村で多額の牛皮役が課せられていたことがわかる。

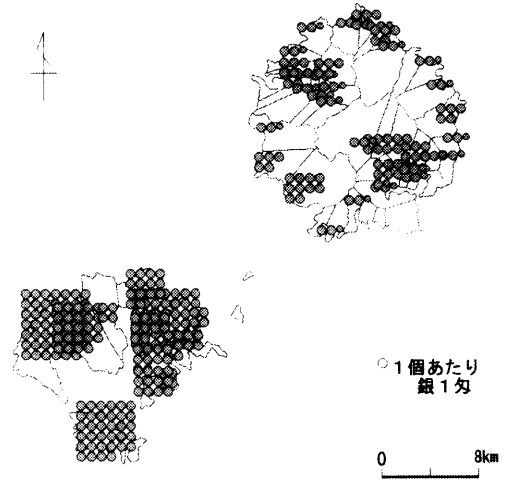


図27 牛皮

2) 回船業

隠岐59ヶ村中44ヶ村が船を所有している。総計1,056艘、1村平均18艘である。船の種類が記されており、大船（総計116艘）、手安船（485艘）、鱸戸船（455艘）、及び小海渡船（2艘）である（付表8、図28）。大船は80石以上、小渡海船は80石以下の回船で前者は主として木材、後者は俵物輸送をしていた²²⁾。最も多く使用されていた手安船とは小型の多目的船のことで肩幅五尺以上を手安舟、五尺以下をカンコ（黒木）あるいはサンパ（浦郷地区）という。いずれも同型の板張船で、漁業から、農作物、貨物の運搬、人の輸送などに使われた。特にカンコは昭和40年代頃まで用いられ、島の代表的な無動力船であった。

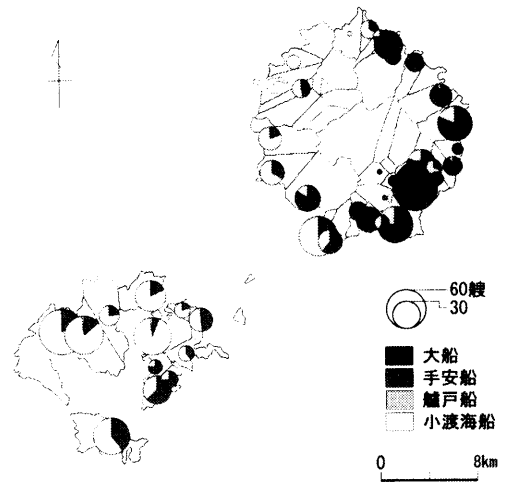


図28 船の種類

また島前では肩幅六尺以上のテヤス型の船を漁船といった。漁業に使わないときは運搬船としても利用する。荷物が積めるように、船の周りを菰や板で囲い、運搬船に仕立てて海産物や雑貨の輸送に当たった。これらの船のことをコモ船、仕立船といい、昭和初期まで活躍したといわれる。

鱸戸船は隠岐で特有の、くり船形式の漁船である。船の両側面（オモキ）は丸太のくりぬき材を用い、底板（チョウ）と張りあわせて作った。材料は縦の木が最適であった。波ゆれが少なく頑丈で、岩礁、浅瀬の採貝、採藻や物を積むには適していたが、船脚が遅いため、網漁、釣り漁

には向かなかったようである²³⁾。

VI 『増補隠州記』からみた地域像 —地誌分析の意義—

1. 基礎地域としての藩政村とその世界

日本中世の末期戦国時代に出現した豊臣秀吉により、百姓を土地に縛り付けるという「村切り」政策がとられ、厳密な土地把握をするためのいわゆる太閤検地が実施された。これを引き継ぐ形で農業をベースにした徳川幕藩体制が始り、前近代の政治的枠組、地域構成が確立した。

ここで誕生した村切りによる藩政村は、実質的な組織体として意味を持ち続け、明治時代以降も「大字」として現在に生きている。幕藩体制下の幕府及び藩はこの藩政村（以下、村という）を基礎単位として村請け制度のもと税の徴収をおこなってきた。故に村単位で村を理解しておくことが為政者にとって必須の業務であった。そのための事業が地誌作成であり、それは為政者の交代の時期、領国再建の時期に多く編まれることになる。隠岐の地誌『増補隠州記』が作成された貞享5年（1688）もそのような時期であった。

さて、ここで問題にしたいのは、為政者（作成者）がいかなる観点で何を調査項目として村を調べ上げていったか、という点である。隠岐に限らず全国のこの種の地誌を概観するにつけ、共通しているのは、地理（地勢、位置など）、政治（知行、村役人など）、経済（村高、田畑、租税、物産など）、社会（戸数、人口、施設など）、文化（寺社、名所旧跡など）が、個別的な精粗の差はあるものの、網羅的に語られている。1つのまとまった世界（小宇宙）としてとらえられている点は注目すべきである。そして住民の側も出来ることならその村という世界内で生活を完結したいと努力している。その意味で村という領域はすこぶる重要なのである。

これを村からみた1次圏とするならば、その隣接村は2次圏にあたる。如何なる地誌にも東西南北に隣接する村名（隠岐の場合はそこへの距離も）が記載されているから、日常の拡大生活圏ともいえよう。田畑においては用水利用、海においては漁場利用、山においては共有林と隣接するが故の利害がからむ圏域である。そして3次圏とは村にとって2次圏外の遠隔地の飛び地的な交易・交流のある場所である。役所のある中心地であるとか、特産物の取引先とかである。村はこの3圏によって成立しているといってよく、その状況が地誌から読みとれる。それが地誌が編まれた領域の総ての村において知ることが出来、そこから各村の特色、各村間の関係、そして地域（領域）内バランスなどの考察が展開できる。

2. 地誌分析視角と隠岐の村の三味一体論

地誌が従来の地理学研究、あるいは歴史学研究の中で取りあげられることはままあったが、それはあくまでも系統的な主題のもと、例えば人口、土地利用、新田開発研究などにおいて、その概観をおさえるために利用されたにすぎず、地誌そのものが主役として扱われることはなかった。それはひとえに個別事項の記述の薄さ、網羅的記載によるわけであるが、見方をかえれば地誌研

究はよみがえるであろう。すなわち、単一項目、系統項目のピックアップ利用型研究ではなく、地誌の特色を活かした総合的分析をめざすのである。

本研究で、地誌記載事項を付表で示したように出来る限りデータベース化し、分布図を描いたのはそのためである。こうした図表を比較考察することによって、次のような地域像が見えてきた。すなわち、隠岐の村落の生業は、農業、漁業、林業（山利用）の三位一体を基本としていたこと。それは戸口規模のいかんにかかわらずすべての村に水田、畑がもうけられ、新田畑開発がなされていたこと、海に面していない村（山村）を除いてすべての村に漁請役が課せられていたこと、そして木材の切りだし、薪取りの記載が多く、多くの村でみられたこと、などから窺える。その理想の形が島前の美田村（#11）であり、島後の中村（#32）であろう。『隠岐隠州記』の記載にこうある。「美田村：一、当所ハ田園、畠園、山林、漁獵、皆調テ、殊ニ郡中ニ勝レたる境地也、舟懸吉」、「中村：一、当所ハ山林広ク、田畑豊饒にして、漁獵を勤、家業安ク既ニ人家百軒ニ及」。

さてその三業の中で農業においては牧畑という畑作農牧業を中心としつつ、かつわずかではあるが水田、常畑も合わせ持った経営がなされていた。牧畑と大いに関係があると思われるが、すべての村に牛と馬（二カ村のみ牛だけ）が飼育されていたことは隠岐村落の特色として強調しておいてよからう。

漁業は、海に面した海村ではすべてにおいて盛んであったが、多種多様の漁獲が村ごとに特化する形でおこなわれていたことが分布図を比較することによってよくわかる。日持ちする形での干物、塩漬け物が特産品として多くみられたことは、当時すでに域外との交易がかなり盛んであったことを物語っている。データベース化はしていないが、地誌項目の中に小島の記載が多く、その記載の中に好漁場が示されていることも多い。津戸村（#14）「一、大盛島 家里ヨリ式里離レテ申方ニ在リ、・・・此島ニ巢巢有、海深サ三四尋、或ハ五尋、鮑、榮螺、和布、海苔、海松等有」。

林業においては近世初期には木材伐採が相当なされていたが、中期以降は入り会い林を利用する形で島後北東部諸村が活気をみせたものの、全体的には薪生産に小規模化していった。海村においても多くの村で山の記載があり利用されていた。例えば美田村（#11）「此焼火山ノ東西南北の尾谷を隔テ、皆山林也、美田ノ境内ニシテ所々ヨリ入テ、薪を取ル、入口別レテ有リ」。

こうした第一次産業を主とする社会において、それとの関連で皮革業、回船業が成り立っていたことも注目しておきたい。

隠岐の個々の村は生業のあり方に共通性を持っていたと同時に、その中身、特に漁業においてするどい個性をもっていた。それが隠岐全体という社会に置いて統合され、その主要部分が商業、交易という形で対外的にアピール出来るように調和していたといえよう。

こうした生業に個々の百姓はいかにとり組んできたのであろうか。この点に関して地誌は、次のように語る。都万村（#15）「一、田畑を耕シ、薪を伐、鱈、烏賊、和布、海苔、鯖、鮑等を取、漁の際に塩焼て家業とス」。生業における村単位での農・漁・林の三味一体が、実は家単位

で実施されていたのである。時代は下がるが民俗学の調査がそれを示してくれる。直江廣治は昭和初期久見村(#28)の調査で「長い間そして現在においてもなお、生産の基礎は農業で、農の合間に海仕事と山仕事を営んでいる」といい、農、漁、山を総合した生産歴の表を掲げている²⁴⁾。横田健一・有坂隆道は昭和31年に釜村(#38)の旧庄屋の佐々木章氏から「村人はどの家でも皆漁に行く。昔は殆ど全部が行き、佐々木氏でさえイカ釣に行った」と聞取る。釜村は海岸段丘上にあり、決して漁場に恵まれている訳ではない。農・山の村である。そんな村でさえ村人はこぞって漁にっていたのである²⁵⁾。

VII おわりに

家族単位でバラエティにとんだ生業を行おうという姿勢、いわばミニ村落的行為、これが非常に強く見える。家族というミニ村落を多数抱えた自己完結指向の強い村落、そして個々の村落で達成され得なかった部分を、主産地形成というもう一つスケールの大きい領国内で補完させる装置を有していた。そのうえで対外交易を進展させてきたのが隠岐である。いや、こうした姿は隠岐だけではなく日本の前近代の村落構造の特色ではなからうか。

地誌分析の魅力は総合的分析にあるといいながら、本稿では、生業関係を中心とした分析にとどまってしまった。本稿で全くふれなかった寺社を初めとする他の豊富な記載の分析およびそれらと経済的諸項目との関連性を論ずるという大きな課題は残ったままである。他日を期したい。

謝辞：本研究は平成11年度文部省科学研究費補助金(創成的基礎研究)「ユーラシア社会の人口・家族構造比較史研究」(代表者：速水融)から援助を受けた。感謝の意を表したい。

注

- 1) 周吉郡西郷町中町高梨文太夫所蔵、『新修島根県史』1965、169-261頁。
- 2) 溝口常俊監修『江戸期なごやアトラス』名古屋市総務局、1998。
- 3) 永海一正『隠岐の歴史—改訂版—』今井書店、1986、96-97頁。
- 4) 三橋時雄『隠岐牧畑の歴史的研究』ミネルヴァ書房、1969。
- 5) 田中豊治『隠岐島の歴史地理学的研究』古今書院、1979。
- 6) 尼寺村は、目次には登場するものの「家一軒、人数は年々国分寺村ノ内へ入ル」とあるから、単独の村とはせずに、国分寺村に編入した。同様に上東村は上西村に編入した。分布図を作成するに当たって、当時明瞭な郡境はそのまま用いたが、不明確であった各村の境界はティーセンの多角形作法、つまり各村の中心集落間の垂直二等分線を引く方法を用いて、便宜的に村境とした。
- 7) 前掲 4) 138-140頁。
- 8) 前掲 3) 89頁。
- 9) 前掲 4) 143-144頁。
- 10) 溝口常俊「近世中期屋久島における家族構成と生産基盤」名古屋大学文学部論集・史学134、1999、175-205頁。

- 11) 速水保孝『隠岐国新風土記』山陰郷土文化研究所、1976、125頁。
- 12) 前掲 4) 135-136頁。
- 13) 前掲 4) 136頁。
- 14) 前掲4) 4-5頁。本稿は牧畑に焦点をあてた研究ではないので、その多くは語らないが、三橋時雄、田中豊治両氏の集大成的な研究の他に、地理学の分野でも早くから注目され、石田竜次郎（「隠岐島前の牧畑」地理学評論5-2、1929、1-20頁）、西川栄一（「隠岐牧畑に関する一考察」地理論叢 8、1936、809-826頁）、石田寛（「放牧と垣内」人文地理12-2、1957、15-30頁）らの業績があり、近年においては長谷川孝治が個人牧場の発生からその変遷の過程を追究している（「隠岐牧畑の変貌－知夫里島における個人牧場の展開－」、浮田典良編『日本の農山漁村とその変容－歴史地理学的・社会地理学的考察－』大明堂、1989、355-370頁）。
- 15) 前掲 5) 152頁。
- 16) 前掲 3) 75-83頁。
- 17) 前掲 5) 179頁。
- 18) 前掲 4) 207頁。
- 19) 隠岐郡布施村『布施村誌』1986、13頁。
- 20) 前掲 5) 158頁。
- 21) 前掲 5) 162頁。近世末期には皮革製造は松江で行われた模様で、隠岐からは死牛馬が松江の業者に送られている。取引は大庄屋と業者間の契約形態となっている。
- 22) 前掲 5) 198頁。
- 23) 隠岐郡西ノ島町『町誌 隠岐西ノ島の今昔』1995、444頁。
- 24) 直江廣治「島根県隠地郡五箇村久見」、柳田国男指導日本民俗学会編『離島生活の研究』国書刊行会、1966、299-358頁。
- 25) 横田健一・有坂陸道「古文書と伝承を通じて見たる隠岐島の中近世史」、関西大学・島根大学『共同隠岐調査会編『隠岐－隠岐文化総合調査報告－』毎日新聞、1968、199-233頁。

付表 1 隠岐の村高と本田畑 (1688)

村No.	郡名	村名	* 本・新田畑総計		* 本田畑		* 本田		* 本畑		* 石/反		
			石	反	石	反	石/反	石	反	石/反	石	反	石/反
1	海士	海士	1081	2464	1070	2450	0.44	772	574	1.34	299	1876	0.16
2	海士	宇津賀	106	290	105	289	0.36	72	75	0.96	33	214	0.16
3	海士	豊田	98	347	95	337	0.28	53	41	1.28	43	296	0.14
4	海士	知々井	234	1120	228	1066	0.21	55	46	1.18	174	1020	0.17
5	海士	太井	80	446	80	445	0.18	3	3	0.97	76	442	0.17
6	海士	布施	233	1174	230	1158	0.20	50	42	1.19	180	1116	0.16
7	海士	崎	332	1561	326	1510	0.22	33	21	1.55	294	1489	0.20
8	海士	福井	241	981	239	976	0.24	117	95	1.23	122	880	0.14
9	知夫里	知夫里	864	4050	857	4018	0.21	127	126	1.01	730	3891	0.19
10	知夫里	浦之郷	1186	6617	1184	6613	0.18	74	68	1.09	1110	6545	0.17
11	知夫里	美田	630	2947	620	2922	0.21	230	185	1.24	390	2736	0.14
12	知夫里	別府	113	588	111	581	0.19	44	39	1.14	67	543	0.12
13	知夫里	宇賀	358	2967	358	2962	0.12	4	4	1.20	354	2959	0.12
14	越智	津戸	43	91	42	84	0.50	36	41	0.87	6	43	0.13
15	越智	都万	703	1204	681	1153	0.59	602	510	1.18	79	643	0.12
16	越智	那久	187	464	177	428	0.41	137	131	1.05	40	297	0.13
17	越智	油井	84	294	81	288	0.28	50	42	1.18	31	245	0.13
18	越智	南方	320	597	276	535	0.52	226	199	1.14	50	336	0.15
19	越智	苗代田	98	204	93	195	0.48	82	68	1.22	11	127	0.09
20	越智	那久路	95	209	89	195	0.46	71	63	1.13	18	131	0.13
21	越智	都万路	76	154	71	141	0.50	56	47	1.20	14	94	0.15
22	越智	小路	165	301	156	279	0.56	126	113	1.12	31	166	0.18
23	越智	郡	181	259	167	234	0.71	138	123	1.12	28	110	0.26
24	越智	山田	229	462	207	418	0.50	170	149	1.14	36	269	0.14
25	越智	一宮	66	90	64	72	0.89	60	52	1.15	4	20	0.20
26	越智	北方	206	267	202	260	0.78	174	160	1.08	28	99	0.28
27	越智	代	77	84	71	71	0.99	65	55	1.18	5	16	0.34
28	越智	久見	148	267	135	246	0.55	104	84	1.25	31	163	0.19
29	越智	伊後	131	353	125	343	0.37	95	100	0.96	30	243	0.12
30	越智	西	210	477	205	469	0.44	167	152	1.10	37	317	0.12
31	周吉	湊	70	82	67	77	0.88	64	58	1.09	4	18	0.21
32	周吉	中	193	431	166	332	0.50	138	129	1.07	28	203	0.14
33	周吉	元屋	170	190	167	186	0.90	103	90	1.14	16	95	0.17
34	周吉	飯美	20	57	19	48	0.40	13	11	1.15	6	37	0.17
35	周吉	布施	40	139	39	134	0.29	16	13	1.20	24	121	0.20
36	周吉	卯敷	37	190	37	189	0.19	8	8	1.12	28	182	0.15
37	周吉	大久	176	566	174	558	0.31	68	61	1.12	105	497	0.21
38	周吉	釜	65	121	64	119	0.53	46	41	1.13	17	78	0.22
39	周吉	犬來	150	379	144	348	0.41	75	64	1.18	69	284	0.24
40	周吉	津井	69	129	65	95	0.69	55	53	1.04	10	42	0.24
41	周吉	飯田	193	322	191	315	0.61	164	128	1.28	27	187	0.14
42	周吉	東郷	290	640	287	622	0.46	219	208	1.05	69	415	0.17
43	周吉	有木	213	373	197	341	0.58	161	136	1.18	36	205	0.18
44	周吉	大光寺	61	81	58	79	0.74	49	38	1.31	9	41	0.22
45	周吉	国分寺	127	154	126	153	0.82	116	94	1.24	10	59	0.16
46	周吉	原田	369	761	335	709	0.47	265	261	1.02	70	448	0.16
47	周吉	上西・上東	303	709	277	628	0.44	207	187	1.11	70	441	0.16
48	周吉	平	66	106	61	99	0.61	55	47	1.15	6	52	0.12
49	周吉	蛸木	61	111	59	94	0.63	54	55	0.97	6	39	0.14
50	周吉	加茂	93	146	91	143	0.64	84	90	0.94	7	54	0.13
51	周吉	箕浦	12	30	12	30	0.39	9	12	0.78	3	18	0.14
52	周吉	岸浜	9	15	8	14	0.61	8	8	0.93	1	5	0.13
53	周吉	今津	48	66	45	53	0.85	34	38	0.89	11	15	0.74
54	周吉	西田	81	135	76	129	0.59	71	80	0.89	5	49	0.11
55	周吉	下西	210	378	196	322	0.61	164	139	1.17	33	183	0.18
56	周吉	護国寺	30	33	29	31	0.92	27	24	1.12	2	7	0.23
57	周吉	矢尾	209	300	205	276	0.74	180	154	1.16	25	122	0.21
58	周吉	目貫	77	131	75	117	0.64	66	57	1.16	9	60	0.14
59	周吉	宇屋	0	0	0	0	u	0	0	u	0	0	u
全村59ヶ村の合計			12019	38104	11617	36979		6515	5695		5055	31284	
全村59ヶ村の1村平均			204	646	197	627	0.5	110	97	1.1	86	530	0.2
島前(村No.1-13)1村平均			427	1965	423	1948	0.2	126	102	1.2	298	1847	0.2
島後(村No.14-59)1村平均			140	273	133	253	0.6	106	95	1.1	26	158	0.2
山村13ヶ村の1村平均			158	297	146	272	0.6	120	106	1.2	26	166	0.2
海村46ヶ村の1村平均			217	744	211	727	0.5	108	94	1.1	102	633	0.2

注1)『増補隠州記』(貞享5年)による。

2) * : 計算項目、u : 不明

3) 海村とは海に面した村(村No.1-18, 26-42, 49-59)、山村とは海に面していない陸部の村(村No.19-25, 43-48)

付表2 隠岐の新田畑(1688)

村No.	郡名	村名	* 新田畑			* 新田			* 新畑			* 新田畑	* 本田畑
			石	反	石/反	石	反	石/反	石	反	石/反	水田率 %	水田率 %
1	海士	海士	11.1	13.9	0.80	11.1	13.9	0.80	0.0	0.0	u	100.0	23.4
2	海士	宇津賀	0.2	0.3	0.60	0.2	0.3	0.60	0.0	0.0	u	100.0	26.0
3	海士	豊田	3.1	9.5	0.33	2.5	3.2	0.77	0.6	6.3	0.10	33.9	12.2
4	海士	知々井	5.6	53.8	0.10	0.2	0.4	0.71	5.3	53.5	0.10	0.7	4.3
5	海士	太井	0.2	0.7	0.27	0.1	0.2	0.80	0.1	0.6	0.10	23.6	0.8
6	海士	布施	3.5	15.4	0.23	2.2	2.9	0.76	1.2	12.5	0.10	19.1	3.6
7	海士	崎	5.8	50.3	0.11	0.9	1.1	0.79	4.9	49.2	0.10	2.1	1.4
8	海士	福井	2.0	5.9	0.34	1.6	1.9	0.83	0.4	4.0	0.10	32.5	9.8
9	知夫里	知夫里	6.5	32.0	0.20	2.2	3.0	0.74	3.9	29.0	0.13	9.3	3.1
10	知夫里	浦之郷	2.3	3.8	0.60	2.3	3.8	0.60	0.0	0.0	u	100.0	1.0
11	知夫里	美田	10.5	25.7	0.41	9.0	11.1	0.81	1.5	14.6	0.10	43.3	6.3
12	知夫里	別府	2.0	6.6	0.3	1.5	2.2	0.70	0.4	4.4	0.10	32.9	6.6
13	知夫里	宇賀	0.5	4.9	0.10	0.0	0.0	u	0.5	4.9	0.10	0.0	0.1
14	越智	津戸	1.9	7.1	0.27	1.4	2.0	0.70	0.5	5.0	0.10	28.6	49.1
15	越智	都万	22.0	51.1	0.43	19.4	25.2	0.77	2.7	25.9	0.10	49.4	44.2
16	越智	那久	10.4	35.4	0.29	7.9	11.1	0.72	2.4	24.4	0.10	31.3	30.5
17	越智	油井	2.6	6.7	0.38	2.2	2.7	0.79	0.4	4.0	0.10	40.7	14.7
18	越智	南方	43.7	61.8	0.71	43.7	61.8	0.71	0.0	0.0	u	100.0	37.3
19	越智	苗代田	4.5	9.5	0.47	4.1	5.7	0.72	0.4	3.7	0.10	60.6	34.8
20	越智	那久路	5.5	14.7	0.38	4.7	6.7	0.70	0.8	7.9	0.10	45.9	32.5
21	越智	都万路	5.5	12.9	0.43	4.8	6.1	0.79	0.7	6.8	0.10	47.3	33.4
22	越智	小路	8.3	22.7	0.37	7.0	9.5	0.74	1.3	13.3	0.10	41.7	40.4
23	越智	郡	14.8	25.1	0.59	14.3	20.2	0.71	0.5	4.8	0.10	80.7	52.8
24	越智	山田	22.2	44.6	0.50	20.8	29.7	0.70	1.5	14.9	0.10	66.5	35.7
25	越智	一宮	2.4	17.5	0.14	0.7	0.9	0.78	1.7	16.6	0.10	5.3	72.5
26	越智	北方	4.9	6.9	0.70	4.9	6.9	0.70	0.0	0.0	u	100.0	61.8
27	越智	代	6.6	13.0	0.51	6.1	7.7	0.79	0.5	5.3	0.10	59.5	77.7
28	越智	久見	13.7	21.2	0.65	13.3	17.5	0.76	0.4	3.7	0.10	82.7	34.0
29	越智	伊後	6.2	10.3	0.60	6.0	8.5	0.71	0.2	1.8	0.10	82.3	29.1
30	越智	西	5.3	8.2	0.65	5.1	6.4	0.80	0.2	1.8	0.10	78.6	32.4
31	周吉	湊	2.1	5.6	0.37	1.8	2.6	0.70	0.3	3.0	0.10	45.9	76.0
32	周吉	中	26.7	98.5	0.27	19.2	24.0	0.80	7.4	74.5	0.10	24.4	38.8
33	周吉	元屋	3.3	4.1	0.81	3.3	4.1	0.81	0.0	0.0	u	100.0	48.7
34	周吉	飯美	1.1	8.7	0.13	0.3	0.5	0.70	0.8	8.2	0.10	5.3	23.0
35	周吉	布施	0.7	5.9	0.11	0.1	0.1	0.73	0.6	5.8	0.10	1.9	9.7
36	周吉	卯敷	0.1	1.2	0.10	0.0	0.0	u	0.1	1.2	0.10	0.0	4.0
37	周吉	大久	2.2	7.9	0.28	1.5	2.1	0.70	0.7	5.7	0.12	27.0	11.0
38	周吉	釜	1.3	1.9	0.70	1.3	1.9	0.70	0.0	0.0	u	100.0	34.3
39	周吉	大来	5.7	30.8	0.19	2.4	2.9	0.83	3.3	27.8	0.12	9.5	18.4
40	周吉	津井	4.2	33.9	0.12	1.0	1.6	0.60	3.2	32.3	0.10	4.7	55.7
41	周吉	飯田	2.4	6.8	0.34	1.9	2.4	0.80	0.5	4.5	0.10	34.4	40.6
42	周吉	東郷	2.8	17.9	0.16	1.2	1.6	0.77	1.6	16.3	0.10	8.7	33.4
43	周吉	有木	16.0	32.0	0.50	14.8	20.3	0.73	1.2	11.7	0.10	63.4	40.0
44	周吉	大光寺	2.2	2.1	1.02	2.2	2.1	1.02	0.0	0.0	u	100.0	47.7
45	周吉	国分寺	1.0	1.4	0.69	1.0	1.1	0.69	0.0	0.0	u	100.0	61.5
46	周吉	原田	33.7	52.4	0.64	32.9	44.7	0.74	0.8	7.7	0.10	85.3	36.8
47	周吉	上西・上東	26.3	81.9	0.32	20.7	25.9	0.80	5.6	56.0	0.10	31.6	29.8
48	周吉	平	4.9	7.0	0.70	4.9	7.0	0.70	0.0	0.0	u	100.0	47.8
49	周吉	蛸木	1.3	16.8	0.08	0.1	0.2	0.70	1.2	16.6	0.07	1.1	58.5
50	周吉	加茂	2.1	2.9	0.72	2.1	2.5	0.82	0.0	0.4	0.10	86.6	62.6
51	周吉	箕浦	0.1	0.2	0.70	0.1	0.2	0.70	0.0	0.0	u	100.0	39.1
52	周吉	岸浜	0.7	1.0	0.69	0.7	1.0	0.69	0.0	0.0	u	100.0	60.6
53	周吉	今津	2.9	12.7	0.23	1.6	2.3	0.70	1.2	10.4	0.12	18.2	72.0
54	周吉	西田	4.4	6.2	0.70	4.3	5.3	0.80	0.1	0.9	0.10	86.1	62.3
55	周吉	下西	13.2	55.7	0.24	8.0	11.1	0.72	5.2	44.6	0.12	19.9	43.2
56	周吉	護国寺	1.3	1.9	0.70	1.3	1.9	0.70	0.0	0.0	u	100.0	77.6
57	周吉	矢尾	4.0	23.2	0.17	1.9	2.5	0.75	2.1	20.7	0.10	10.8	55.9
58	周吉	目貫	1.6	13.4	0.12	0.3	0.4	0.70	1.3	13.1	0.10	2.8	48.9
59	周吉	宇屋	0.0	0.0	u	0.0	0.0	u	u	u	u	u	u
合計			401.7	1125.2		331.1	445.2		70.2	680.0			
全村59ヶ村の1村平均			6.8	19.1	0.4	5.6	7.5	0.7	1.2	11.7	0.1	49.4	35.3
島前(村No.1-13)1村平均			4.1	17.1	0.3	2.6	3.4	0.7	1.4	13.8	0.1	38.3	7.6
島後(村No.14-59)1村平均			7.6	19.6	0.4	6.5	8.7	0.7	1.1	11.1	0.1	52.6	43.3
山村13ヶ村の1村平均			11.3	24.9	0.5	10.2	13.9	0.8	1.1	11.0	0.1	63.7	43.5
海村46ヶ村の1村平均			5.5	17.4	0.4	4.3	5.8	0.7	1.2	11.9	0.1	45.3	33.0

付表3 隠岐の家数・人数 (1688)

村No.	郡名	村名	家		間脇	公文	年寄	*百姓数-		人数	*男	*女	*性比	*人数/反	*人数/1戸
			軒	百姓				御役	御屋敷						
1	海士	海士	115	67	48	1	3	67	0	914	447	467	95.7	0.4	7.9
2	海士	宇津賀	19	11	8	1	1	9	2	136	64	72	88.9	0.5	7.2
3	海士	豊田	33	19	14	1	1	26	-7	185	88	97	90.7	0.5	5.6
4	海士	知々井	50	37	13	1	1	26	11	241	111	130	85.4	0.2	4.8
5	海士	太井	20	12	8	1	1	12	0	103	57	46	123.9	0.2	5.2
6	海士	布施	28	22	6	1	1	22	0	175	73	102	71.6	0.1	6.3
7	海士	崎	70	21	49	1	1	31	-10	321	154	167	92.2	0.2	4.6
8	海士	福井	56	33	23	1	1	31	2	262	134	128	104.7	0.3	4.7
9	知夫里	知夫里	133	61	72	2	2	50	11	850	427	423	100.9	0.2	6.4
10	知夫里	浦之郷	206	110	96	3	6	82	28	1033	485	548	88.5	0.2	5.0
11	知夫里	美田	202	53	149	1	7	60	-7	936	491	445	110.3	0.3	4.6
12	知夫里	別府	31	19	12	1	1	u	u	191	100	91	109.9	0.3	6.2
13	知夫里	宇賀	61	38	23	1	2	51	-13	341	158	183	86.3	0.1	5.6
14	越智	津戸	52	46	6	1	1	43	3	221	111	110	100.9	2.4	4.3
15	越智	都万	196	160	36	1	3	95	65	1141	577	564	102.3	0.9	5.8
16	越智	那久	68	65	3	1	2	41	24	443	222	221	100.5	1.0	6.5
17	越智	油井	35	26	9	1	1	19	7	182	95	87	109.2	0.6	5.2
18	越智	南方	77	64	13	1	2	49	15	392	202	190	106.3	0.7	5.1
19	越智	苗代田	21	15	6	1	1	8	7	139	73	66	110.6	0.7	6.6
20	越智	那久路	25	17	8	1	1	9	8	146	77	69	111.6	0.7	5.8
21	越智	都万路	15	12	3	1	1	8	4	89	46	43	107.0	0.6	5.9
22	越智	小路	51	37	14	1	2	21	16	304	153	151	101.3	1.0	6.0
23	越智	郡	41	33	8	1	1	13	20	196	97	99	98.0	0.8	4.8
24	越智	山田	62	54	8	1	1	28	26	322	161	161	100.0	0.7	5.2
25	越智	一宮	12	12	0	1	1	7	5	77	40	37	108.1	0.9	6.4
26	越智	北方	62	51	11	1	1	48	3	327	170	157	108.3	1.2	5.3
27	越智	代	20	17	3	1	1	8	9	107	51	56	91.1	1.3	5.4
28	越智	久見	52	48	4	1	1	12	36	286	161	125	128.8	1.1	5.5
29	越智	伊後	37	32	5	1	1	19	13	185	99	86	115.1	0.5	5.0
30	越智	西	69	57	12	1	1	21	36	338	171	167	102.4	0.7	4.9
31	周吉	湊	30	22	8	1	1	8	14	142	73	69	105.8	1.7	4.7
32	周吉	中	99	70	29	1	1	36	34	480	238	242	98.3	1.1	4.8
33	周吉	元屋	36	26	10	1	1	6	20	181	89	92	96.7	1.0	5.0
34	周吉	飯美	19	9	10	1	1	5	4	88	46	42	109.5	1.6	4.6
35	周吉	布施	58	22	36	1	1	20	2	332	174	158	110.1	2.4	5.7
36	周吉	卯敷	40	19	21	1	1	17	2	218	112	106	105.7	1.1	5.5
37	周吉	大久	83	39	44	1	1	42	-3	455	238	217	109.7	0.8	5.5
38	周吉	釜	16	8	8	1	1	8	0	92	45	47	95.7	0.8	5.8
39	周吉	犬来	43	34	9	1	1	24	10	262	132	130	101.5	0.7	6.1
40	周吉	津井	25	16	9	1	1	11	5	126	62	64	96.9	1.0	5.0
41	周吉	飯田	49	36	13	1	1	17	19	268	133	135	98.5	0.8	5.5
42	周吉	東郷	90	59	31	1	1	40	19	488	248	240	103.3	0.8	5.4
43	周吉	有木	62	44	18	1	1	25	19	340	173	167	103.6	0.9	5.5
44	周吉	大光寺	12	4	8	1	1	4	0	60	31	29	106.9	0.7	5.0
45	周吉	園分寺	31	22	9	2	1	12	10	155	75	80	93.8	1.0	5.0
46	周吉	原田	107	62	45	1	3	47	15	724	349	375	93.1	1.0	6.8
47	周吉	上西・上東	85	50	35	1	3	29	21	481	242	239	101.3	0.7	5.7
48	周吉	平	13	4	9	1	2	4	0	92	45	47	95.7	0.9	7.1
49	周吉	蛸木	41	31	10	1	1	28	3	196	104	92	113.0	1.8	4.8
50	周吉	加茂	25	16	9	1	1	16	0	158	81	77	105.2	1.1	6.3
51	周吉	箕浦	25	18	7	1	1	18	0	100	52	48	108.3	3.3	4.0
52	周吉	岸浜	7	5	2	1	1	4	1	30	13	17	76.5	2.0	4.3
53	周吉	今津	34	16	18	1	1	15	1	223	112	111	100.9	3.4	6.6
54	周吉	西田	31	21	10	1	1	14	7	184	90	94	95.7	1.4	5.9
55	周吉	下西	56	35	21	1	1	25	10	276	135	141	95.7	0.7	4.9
56	周吉	護国寺	11	6	5	1	1	0	6	58	33	25	132.0	1.8	5.3
57	周吉	欠尾	105	31	74	1	2	35	-4	555	290	265	109.4	1.9	5.3
58	周吉	日貫	86	10	76	1	1	34	-24	501	262	239	109.6	3.8	5.8
59	周吉	宇屋	48	u	u	1	1	19	u	236	120	116	103.4	u	4.9
合計			3286	1984	1254	63	85	1479	505	18084	9092	8992			
全村59ヶ村の1村平均			55.7	34.2	21.6	1.1	1.4	25.5	8.9	306.5	154.1	152.4	102.1	1.0	5.5
島前(村No.1-13)1村平均			78.8	38.7	40.1	1.2	2.2	38.9	1.4	437.5	214.5	223.0	96.1	0.3	5.7
島後(村No.14-59)1村平均			49.2	32.9	16.3	1.0	1.2	22.0	10.8	269.5	137.0	132.5	103.9	1.2	5.4
山村13ヶ村の1村平均			41.3	28.2	13.2	1.1	1.5	16.5	11.6	240.4	120.2	120.2	102.4	0.8	5.8
海村46ヶ村の1村平均			59.8	36.0	24.1	1.1	1.4	28.1	8.0	325.2	163.7	161.5	102.1	1.1	5.4

注4)『増補隠州記』の男、女の数に坊主以下山伏の数が入っていないが、ここでは加算して示した。

付表4 隠岐の人数・牛馬(1688)

村No.	郡名	村名	坊主人	禪門人	道心者人	神主人	比丘尼人	座頭人	山伏人	牛馬計 匹	牛 匹	馬 匹	* 牛馬/戸 匹
1	海士	海士	12	4	0	0	2	0	0	465	114	351	4.0
2	海士	宇津賀	0	2	0	0	0	0	0	20	17	3	1.1
3	海士	豊田	2	0	0	0	0	0	0	23	18	5	0.7
4	海士	知々井	6	0	1	0	0	0	0	43	20	23	0.9
5	海士	太井	2	0	1	0	0	0	0	19	8	11	1.0
6	海士	布施	2	0	0	0	0	0	0	67	32	35	2.4
7	海士	崎	6	0	0	0	0	0	0	162	73	89	2.3
8	海士	福井	2	0	1	0	0	1	0	97	56	41	1.7
9	知夫里	知夫里	4	3	5	1	0	0	0	264	163	101	2.0
10	知夫里	浦之郷	4	0	7	1	0	0	0	438	178	260	2.1
11	知夫里	美田	9	5	5	0	1	0	0	329	219	110	1.6
12	知夫里	別府	1	0	3	1	0	0	0	140	97	43	4.5
13	知夫里	宇賀	2	0	1	0	0	0	0	237	135	102	3.9
14	越智	津戸	0	2	0	1	0	0	0	27	18	9	0.5
15	越智	都万	3	0	0	3	1	0	0	522	270	252	2.7
16	越智	那久	5	0	2	1	0	0	0	226	130	96	3.3
17	越智	油井	3	1	1	1	0	0	0	92	48	44	2.6
18	越智	南方	4	3	0	0	0	0	0	156	104	52	2.0
19	越智	苗代田	1	1	0	0	1	0	0	46	29	17	2.2
20	越智	那久路	1	1	0	0	0	0	0	42	31	11	1.7
21	越智	都万路	0	2	0	0	0	0	0	27	15	12	1.8
22	越智	小路	9	1	0	1	0	1	0	133	85	48	2.6
23	越智	郡	3	4	0	0	0	0	1	92	65	27	2.2
24	越智	山田	5	3	0	0	0	0	0	107	65	42	1.7
25	越智	一宮	0	0	0	2	0	0	0	32	21	11	2.7
26	越智	北方	7	0	0	3	0	0	0	141	92	49	2.3
27	越智	代	0	0	0	1	0	0	1	34	22	12	1.7
28	越智	久見	2	2	0	1	0	1	0	104	52	52	2.0
29	越智	伊後	1	1	0	0	0	1	0	110	70	40	3.0
30	越智	西	3	1	0	0	0	0	0	126	75	51	1.8
31	周吉	湊	3	1	0	0	0	0	0	62	40	22	2.1
32	周吉	中	3	1	0	1	0	0	0	262	164	98	2.6
33	周吉	元屋	7	0	0	1	0	0	0	60	35	25	1.7
34	周吉	飯美	0	1	0	0	0	0	0	26	16	10	1.4
35	周吉	布施	0	0	0	1	0	0	1	93	43	50	1.6
36	周吉	卯敷	2	0	1	1	0	0	0	62	32	30	1.6
37	周吉	大久	9	0	0	4	0	0	0	314	157	157	3.8
38	周吉	釜	0	1	0	0	0	0	0	28	26	2	1.8
39	周吉	大来	3	1	0	0	0	1	0	96	76	20	2.2
40	周吉	津井	2	0	0	0	0	0	0	41	27	14	1.6
41	周吉	飯田	4	0	2	6	0	0	0	72	49	23	1.5
42	周吉	東郷	5	0	2	8	0	0	1	147	87	60	1.6
43	周吉	有木	3	0	2	1	0	0	0	139	70	69	2.2
44	周吉	大光寺	1	0	0	0	0	0	0	16	8	8	1.3
45	周吉	国分寺	5	2	0	0	0	1	0	50	30	20	1.6
46	周吉	原田	6	4	0	4	0	1	2	251	156	95	2.3
47	周吉	上西・上東	2	2	1	0	0	0	4	232	130	102	2.7
48	周吉	平	2	1	0	0	0	0	0	15	8	7	1.2
49	周吉	蛸木	2	0	0	0	0	0	0	19	14	5	0.5
50	周吉	加茂	2	1	0	0	0	0	0	22	11	11	0.9
51	周吉	箕浦	0	0	0	0	0	0	0	10	10	0	0.4
52	周吉	岸浜	0	0	0	0	0	0	0	3	3	0	0.4
53	周吉	今津	2	1	0	0	1	0	0	32	20	12	0.9
54	周吉	西田	1	1	0	0	0	0	0	64	31	33	2.1
55	周吉	下西	2	4	0	3	0	0	1	78	36	42	1.4
56	周吉	護国寺	4	0	0	0	0	0	0	18	7	11	1.6
57	周吉	矢尾	3	1	0	0	0	2	0	104	61	43	1.0
58	周吉	目貫	7	0	0	0	0	0	0	12	10	2	0.1
59	周吉	宇屋	0	0	0	0	0	0	0	9	8	1	0.2
		合計	179	58	35	47	6	9	11	6658	3687	2971	
		全村59ヶ村の1村平均	3.0	1.0	0.6	0.8	0.1	0.2	0.2	113	62	50	1.9
		島前(村No.1-13)1村平均	4.0	1.1	1.8	0.2	0.2	0.1	0.0	177	87	90	2.2
		島後(村No.14-59)1村平均	2.8	1.0	0.2	1.0	0.1	0.2	0.2	95	56	39	1.8
		山村13ヶ村の1村平均	2.9	1.6	0.2	0.6	0.1	0.2	0.5	91	55	36	2.0
		海村46ヶ村の1村平均	3.1	0.8	0.7	0.8	0.1	0.1	0.1	119	65	54	1.8

付表5 隠岐の租税1 (1688)

村No.	郡名	村名	竈役	漁請役	鱒		鱒		鯖		飛魚		海苔		大鯛		鯛	
			匁	匁	本	匁	匁	匁	匁	匁	匁	匁	匁	匁	匁	匁	匁	匁
1	海士	海士	67	39	14	16.8	0	0	0	0	0	0	1.6	1.1	14	2.8	0	0
2	海士	宇津賀	9	0	1	1.2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
3	海士	豊田	26	73	12	12	0	0	0	0	0	1	1	0	0	10	2	0
4	海士	知々井	26	93	5	6	0	0	0	0	0	0	0	0	10	2	0	0
5	海士	太井	12	24	3	3.6	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
6	海士	布施	22	22.6	4	4.8	0	0	0	0	0	0	0.5	0.5	4	0.8	0	0
7	海士	崎	31	70	9	10.8	0	0	0	0	0	0	0.5	0.5	8	1.6	0	0
8	海士	福井	31	21	0	0	0	0	0	0	0	0	0.7	0.7	7	1.4	0	0
9	知夫里	知夫里	50	46	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1	5	1	0	0
10	知夫里	浦之郷	82	200	0	0	75	112	0	0	75	150	0	0	75	15	0	0
11	知夫里	美田	60	70	0	0	55	82.5	0	0	55	110	0.5	0.5	6	1.2	0	0
12	知夫里	別府	16	16	0	0	0	0	0	0	2	4	0.8	0.8	7	1.4	0	0
13	知夫里	宇賀	51	37	0	0	0	0	0	0	2	4	0.13	1.3	0	0	0	0
14	越智	津戸	43	173.4	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
15	越智	都万	95	20	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
16	越智	那久	41	32	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
17	越智	油井	19	32	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
18	越智	南方	49	20	3	3.6	0	0	0	0	0	0	0.6	1	0	0	80	3.2
19	越智	苗代田	8	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
20	越智	那久路	9	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
21	越智	都方路	8	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
22	越智	小路	21	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
23	越智	郡	13	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
24	越智	山田	28	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
25	越智	一宮	7	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
26	越智	北方	48	32	0	0	0	0	20	2.8	20	5	1.2	2.4	0	0	0	0
27	越智	代	8	4	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
28	越智	久見	12	20	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	100	4
29	越智	伊後	19	4	0	0	0	0	0	0	0	1.8	3.6	0	0	0	0	0
30	越智	西	21	10	0	0	0	0	0	0	0	1	2	0	0	0	0	0
31	周吉	湊	8	4	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
32	周吉	中	36	10.7	0	0	0	0	0	0	0	1.2	2.4	0	0	0	0	0
33	周吉	元屋	6	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
34	周吉	飯美	5	11.4	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
35	周吉	布施	20	33.8	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
36	周吉	卯敷	17	33.8	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
37	周吉	大久	42	133.8	0	0	0	0	0	0	0	1.2	2.4	0	0	0	0	0
38	周吉	釜	8	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
39	周吉	犬来	24	86.9	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
40	周吉	津井	11	12	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
41	周吉	飯田	17	7.4	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
42	周吉	東郷	40	80	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
43	周吉	有木	25	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
44	周吉	大光寺	4	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
45	周吉	国分寺	12	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
46	周吉	原田	47	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
47	周吉	上西・上東	29	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
48	周吉	平	4	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
49	周吉	蛸木	28	146.7	11	13.2	0	0	38	5.3	0	0	0	0	13	3.25	0	0
50	周吉	加茂	16	44	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
51	周吉	箕浦	18	73.4	8	9.6	0	0	27	3.8	0	0	0	0	9	2.25	0	0
52	周吉	岸浜	4	13.4	2	2.4	0	0	10	1.4	0	0	0	0	3	0.75	0	0
53	周吉	今津	15	73.4	3	3.6	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
54	周吉	西田	14	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
55	周吉	下西	25	14.7	0	0	0	0	20	2.8	0	0	0	0	0	0	0	0
56	周吉	護国寺	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
57	周吉	矢尾	35	55.7	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
58	周吉	目貫	34	111.1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
59	周吉	宇屋	19	86.7	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
合計			1495.0	2091.9	75.0	87.6	130.0	194.5	115.0	16.1	154.0	273.0	13.7	21.2	161.0	33.5	190.0	9.2
全村59ヶ村の1村平均			25.3	35.5	1.3	1.5	2.2	3.3	1.9	0.3	2.6	4.6	0.2	0.4	2.7	0.6	3.2	0.2
島前(村No.1-13)1村平均			37.2	54.7	3.7	4.2	10.0	15.0	0.0	0.0	10.3	20.6	0.5	0.6	10.5	2.1	0.8	0.2
島後(村No.14-59)1村平均			22.0	30.0	0.6	0.7	0.0	0.0	2.5	0.4	0.4	0.1	0.2	0.3	0.5	0.1	3.9	0.2
山村13ヶ村の1村平均			16.5	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
海村46ヶ村の1村平均			27.8	45.5	1.6	1.9	2.8	4.2	2.5	0.4	3.3	5.9	0.3	0.5	3.5	0.7	4.1	0.2

付表6 隠岐の租税2 (1688)

村No.	郡名	村名	切鮑		鰯		柄油		核芋		牛皮		串鮑		串海鼠		和布	
			升	匁分	連	匁分	斗	匁分	目	匁分	枚	匁分	連串	斗	連串	斗	束	匁分
1	海士	海士	0	0	0	0	1.4	2.8	1980	5.2	21	42	1.8	4	2.2	1.47	0	0
2	海士	宇津賀	0	0	0	0	0.1	0.2	270	0.7	0	0	0.2	0.44	0	0	0	0
3	海士	豊田	3	3	0	0	0	0	780	2.1	2	4	1	2.22	1	0.60	2	0.2
4	海士	知々井	0	0	0	0	0	0	780	2.05	5	10	1	2.22	1	0.67	4	0.4
5	海士	太井	0	0	40	10	0	0	360	0.95	2	4	0.3	0.67	0.3	0.20	30	0.6
6	海士	布施	4	2	0	0	0.7	1.4	660	1.7	5	10	0.5	1.11	0.5	0.33	0	0
7	海士	崎	0	0	80	20	0.5	1	930	2.45	6	12	1	2.22	0	0	3	0.3
8	海士	福井	0	0	0	0	0.7	1.4	930	2.45	5	10	7	1.55	0.7	0.47	0	0
9	知夫里	知夫里	3	3	0	0	0	0	1500	3.95	17	34	1	2.22	1	0.67	5	0.5
10	知夫里	浦之郷	0	0	0	0	0	0	2460	6.5	24	48	0	0	0	0	10	1.0
11	知夫里	美田	0	0	6	1.5	9.6	19.2	1800	4.7	12	24	0	0	0	0	6	0.6
12	知夫里	別府	0	0	0	0	4.8	9.6	330	0.9	2	4	0.8	1.78	0.8	0.53	0	0
13	知夫里	宇賀	0	0	0	0	0.2	0.4	1500	3.95	7	14	0.5	1.11	0.8	0.53	2	0.2
14	越智	津戸	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
15	越智	都万	0	0	0	0	0.2	0.4	3000	7.8	4	10	0	0	0	0	0	0
16	越智	那久	0	0	0	0	0	0	1320	3.5	2	5	2	4.44	0	0	6	1.2
17	越智	油井	0	0	0	0	0.5	1	630	1.7	1	2.5	0	0	0	0	0	0
18	越智	南方	0	0	0	0	3	6	1490	3.9	2	5	1.6	3.55	0	0	6	1.20
19	越智	苗代田	0	0	0	0	0	0	240	0.6	1	2.5	0	0	0	0	0	0
20	越智	那久路	0	0	0	0	0.5	1	300	0.8	1	2.5	0	0	0	0	0	0
21	越智	都万路	0	0	0	0	0.3	6	270	7	1	2.5	0	0	0	0	0	0
22	越智	小路	0	0	0	0	0	0	730	1.9	1	2.5	0	0	0	0	0	0
23	越智	郡	0	0	0	0	0.7	1.4	460	1.2	1	2.5	0	0	0	0	0	0
24	越智	山田	0	0	0	0	3.3	6.6	750	2	2	5	0	0	0	0	0	0
25	越智	一宮	0	0	0	0	0	0	180	0.5	0	0	0	0	0	0	0	0
26	越智	北方	0	0	0	0	1.2	2.4	1320	3.5	2	5	0	0	0	0	3	0.6
27	越智	代	0	0	0	0	0	0	280	0.7	1	2.5	0	0	0	0	20	4.0
28	越智	久見	0	0	72	18	0	0	330	0.9	1	2.5	3	6.66	0	0	6	1.2
29	越智	伊後	0	0	0	0	1.8	3.6	740	1.9	1	2.5	0	0	0	0	0	0
30	越智	西	0	0	0	0	1.5	3	730	1.9	2	5	0	0	0	0	0	0
31	周吉	湊	0	0	0	0	1.2	2.4	270	0.7	1	2.5	0	0	0	0	0	0
32	周吉	中	0	0	0	0	1.5	3	1190	3.1	2	5	0	0	0	0	10	2.0
33	周吉	元屋	0	0	0	0	1.2	2.4	380	1	1	2.5	0	0	0	0	0	0.0
34	周吉	飯美	0	0	0	0	0.7	1.4	150	0.4	0	0	0	0	0	0	6	1.2
35	周吉	布施	0	0	0	0	0.6	1.2	600	1.6	1	2.5	0	0	0	0	0	0
36	周吉	卯敷	0	0	0	0	0	0	530	1.4	1	2.5	0	0	0	0	0	0
37	周吉	大久	0	0	108	27	1.2	2.4	1230	3.2	2	5	0	0	0	0	14	2.8
38	周吉	釜	0	0	0	0	0	0	270	0.7	1	2.5	0	0	0	0	0	0
39	周吉	大来	0	0	30	7.5	0	0	865	2.3	1	2.5	0	0	0	0	0	0
40	周吉	津井	0	0	0	0	0.7	1.2	410	1.1	0	0	0	0	0	0	0	0
41	周吉	飯田	0	0	0	0	0	0	565	1.5	1	2.5	0	0	0	0	0	0
42	周吉	東郷	0	0	0	0	0	0	1550	4.1	3	7.5	0	0	0	0	0	0
43	周吉	有木	0	0	0	0	0	0	1050	2.8	2	5	0	0	0	0	0	0
44	周吉	大光寺	0	0	0	0	0	0	120	0.3	0	0	0	0	0	0	0	0
45	周吉	国分寺	0	0	0	0	0	0	520	1.4	0	0	0	0	0	0	0	0
46	周吉	原田	0	0	0	0	0	0	1000	2.6	2	5	0	0	0	0	0	0
47	周吉	上西・上東	0	0	0	0	0	0	1170	3.1	1	2.5	0	0	0	0	0	0
48	周吉	平	0	0	0	0	0	0	180	0.5	0	0	0	0	0	0	0	0
49	周吉	蛸木	0	0	13	3.25	0	0	0	0	1	2.5	0	0	0	0	2	0.40
50	周吉	加茂	0	0	0	0	0	0	1020	2.7	1	2.5	0	0	0	0	0	0.00
51	周吉	箕浦	0	0	9	2.25	0	0	540	1.4	0	0	0	0	0	0	2	0.40
52	周吉	岸浜	0	0	0	0	0	0	120	0.3	0	0	0	0	0	0	1	0.20
53	周吉	今津	0	0	0	0	0	0	450	1.2	0	0	0	0	0	0	3	0.60
54	周吉	西田	0	0	0	0	0	0	540	1.4	1	2.5	0	0	0	0	0	0
55	周吉	下西	0	0	20	5	0	0	1010	2.7	3	7.5	0	0	0	0	4	0.80
56	周吉	護国寺	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
57	周吉	矢尾	0	0	0	0	0	0	1020	2.7	1	2.5	0	0	0	0	0	0
58	周吉	目貫	0	0	0	0	0	0	1000	2.6	1	2.5	0	0	0	0	0	0
59	周吉	宇屋	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
合計			109	8.0	378	94.5	38.1	81.4	11800	124.2	158	341.0	21.7	34.2	8.3	4.0	145	20.4
全150ヶ村の1村平均			0.2	0.1	6.4	1.6	0.6	1.4	759	2.1	2.7	5.8	0.4	0.6	0.1	0.1	2.5	0.3
島前(村No.1-13)1村平均			6.8	0.6	9.7	2.4	1.4	2.8	1098	2.9	8.3	16.6	1.2	1.5	0.6	0.3	4.8	0.3
島後(村No.14-59)1村平均			0.0	0.0	5.5	1.4	0.4	1.0	663	1.9	1.1	2.7	0.1	0.3	0.0	0.0	1.8	0.4
山村13ヶ村の1村平均			0.0	0.0	0.0	0.0	0.4	1.2	536	1.9	0.9	2.3	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
海村46ヶ村の1村平均			0.2	0.2	8.2	2.1	0.7	1.4	822	2.2	3.2	6.8	0.5	0.7	0.2	0.1	3.2	0.4

付表7 隠岐の租税3 (1688)

村No.	郡名	村名	椎実		山手塩		茶		漆		山椒		絞油		*総役銀 匁分
			升	匁分	俵	匁分	袋	匁分	合	斗	升	匁分	升	匁分	
1	海士	海士	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	177
2	海士	宇津賀	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	11
3	海士	豊田	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	123
4	海士	知々井	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	139
5	海士	太井	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	55
6	海士	布施	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	66
7	海士	崎	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	150
8	海士	福井	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	68
9	知夫里	知夫里	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	139
10	知夫里	浦之郷	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	615
11	知夫里	美田	5	1	120	72	0	0	0	0	0	0	0	0	447
12	知夫里	別府	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	37
13	知夫里	宇賀	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	112
14	越智	津戸	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	216
15	越智	都万	0	0	273	191.38	6	0.90	3	2.66	0	0	0	0	325
16	越智	那久	0	0	100	72	2	0.30	0.5	0.44	5	2	1.8	3.6	161
17	越智	油井	0	0	100	70	0	0	0	0	0	0	0	0	126
18	越智	南方	0	0	130	91	6	9.00	0	0	0	0	0	0	193
19	越智	苗代田	0	0	0	0	11	1.65	1	0.89	0	0	0.4	0.7	13
20	越智	那久路	0	0	0	0	24	3.60	2	1.78	0	0	0	0	17
21	越智	都万路	0	0	0	0	9	1.35	2	1.78	0	0	0	0	25
22	越智	小路	0	0	0	0	66	9.90	10	8.88	0	0	12.0	2.4	38
23	越智	郡	0	0	0	0	0	0.00	5	4.44	0	0	0	0	18
24	越智	山田	0	0	0	0	42	6.30	8	7.10	0	0	0	0	48
25	越智	一宮	0	0	0	0	2	0.30	0	0	0	0	0	0	8
26	越智	北方	0	0	100	70	9	1.35	0.5	0.44	0	0	0	0	176
27	越智	代	0	0	100	70	0	0	0	0	0	0	0	0	89
28	越智	久見	0	0	100	70	0	0	1	8.90	0	0	0	0	129
29	越智	伊後	0	0	60	42	0	0	0	0	0	0	0	0	77
30	越智	西	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	43
31	周吉	湊	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	18
32	周吉	中	0	0	0	0	0	0	15	13.32	0	0	0	0	62
33	周吉	元屋	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	12
34	周吉	飯美	0	0	30	21	0	0	0	0	0	0	0	0	40
35	周吉	布施	0	0	80	56	0	0	2	1.78	0	0	0	0	115
36	周吉	卯敷	0	0	60	42	2	0.30	0	0	0	0	0	0	97
37	周吉	大久	0	0	120	84	2	3.00	5	4.44	0	0	0	0	306
38	周吉	釜	0	0	0	0	2	1.80	0	0	0	0	0	0	13
39	周吉	犬来	0	0	0	0	45	6.75	0	0	0	0	0	0	130
40	周吉	津井	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	25
41	周吉	飯田	0	0	0	0	17	2.55	0	0	0	0	0	0	31
42	周吉	東郷	0	0	0	0	4	0.60	3	2.66	0	0	7.8	15.6	148
43	周吉	有木	0	0	0	0	8	1.20	11	9.77	0	0	5.0	10.0	44
44	周吉	大光寺	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	4
45	周吉	国分寺	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	13
46	周吉	原田	0	0	0	0	40	6.00	6.2	5.56	0	0	7.3	14.6	75
47	周吉	上西・上東	0	0	0	0	22	3	43	41	0	0	6	12	50
48	周吉	平	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	5
49	周吉	蛸木	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	208
50	周吉	加茂	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	8
51	周吉	箕浦	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	115
52	周吉	岸浜	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	24
53	周吉	今津	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	94
54	周吉	西田	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.6	1.2	19
55	周吉	下西	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	4.0	0.8	62
56	周吉	護国寺	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
57	周吉	矢尾	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	96
58	周吉	目貫	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	150
59	周吉	宇屋	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	106
合計			5.0	1.0	1373	951.4	319.0	60.2	118.2	115.7	5.0	2.0	45.1	68.5	5975
全村59ヶ村の1村平均			0.1	0.0	23.3	16.1	5.4	1.0	2.0	2.0	0.1	0.0	0.8	1.2	101.3
島前(村No.1-13)1村平均			0.4	0.1	9.2	5.5	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	164.5
島後(村No.14-59)1村平均			0.0	0.0	27.2	19.1	6.9	1.3	2.6	2.5	0.1	0.0	1.0	1.5	83.4
山村13ヶ村の1村平均			0.0	0.0	0.0	0.0	17.2	2.6	6.8	6.2	0.0	0.0	2.3	3.0	27.5
海村46ヶ村の1村平均			0.1	0.0	29.8	20.7	2.1	0.6	0.7	0.8	0.1	0.0	0.3	0.6	122.1

付表8 隠岐の船・漁(1688)

村No.	郡名	村名	船総計	大船	手安船	鱈戸船	小渡海船	*1口当船	漁
			艘	艘	艘	艘	艘	艘	漁種No.
1	海士	海士	0	0	0	0	0	0.0	1.2.3.4.5.6.7.8.9.10.11
2	海士	宇津賀	10	0	2	8	0	0.5	1.2.3.4.5.6.7.8.9.11
3	海士	豊田	23	0	11	12	0	0.7	1.2.3.4.6.10.11.12
4	海士	知々井	10	0	4	6	0	0.2	1.2.3.4.5.7.8.9.10.11.13.14
5	海士	太井	10	1	7	3	0	0.5	2.10.3.1.6.5.11.12
6	海士	布施	8	0	6	2	0	0.3	1.2.3.6.10.11.12
7	海士	崎	31	1	19	12	0	0.4	1.2.3.6.4.5.10.11.12
8	海士	福井	56	0	3	52	1	1.0	1.2.3.11
9	知夫里	知夫里	53	1	20	32	0	0.4	1.2.3.4.5.6.7.8.9.10.11.14.15
10	知夫里	浦之郷	82	0	12	70	0	0.4	1.2.3.4.5.6.7.8.9.10.11.12
11	知夫里	美田	59	0	8	50	1	0.3	1.3.5.6.7.8.9.10.11.12.16
12	知夫里	別府	17	2	2	13	0	0.5	1.2.3.4.5.6.7.8.9.10.11.12.13
13	知夫里	宇賀	38	2	5	31	0	0.6	1.3.2.10.6.7.8.9.4.13.5.11.12
14	越智	津戸	60	5	11	44	0	1.2	1.2.3.4.7.8.9.11
15	越智	都方	25	1	20	4	0	0.1	2.3.4.7.9.10
16	越智	那久	24	3	5	16	0	0.4	2.3.4.6.7.8.9.10
17	越智	油井	21	1	3	17	0	0.6	7.8.9.10.6.2.3.4.13
18	越智	南方	13	2	4	7	0	0.2	2.3.6.1.?.15.16.19.20
19	越智	苗代田	0	0	0	0	0	0.0	
20	越智	那久路	0	0	0	0	0	0.0	
21	越智	都方路	0	0	0	0	0	0.0	
22	越智	小路	0	0	0	0	0	0.0	
23	越智	郡	0	0	0	0	0	0.0	
24	越智	山田	0	0	0	0	0	0.0	
25	越智	一宮	0	0	0	0	0	0.0	
26	越智	北方	0	0	0	0	0	0.0	1.2.3.4.6.7.8.9.17.18
27	越智	代	8	0	0	8	0	0.4	3.4.6.9.10.13
28	越智	久見	0	0	0	0	0	0.0	1.3.10.6.8.9.4.13
29	越智	伊後	1	0	0	1	0	0.0	
30	越智	西	13	0	4	9	0	0.2	3.6.10.4.7.9
31	周吉	湊	8	0	6	2	0	0.3	10.6.4.13.7.9.
32	周吉	中	31	2	29	0	0	0.3	7.4.3.8.9.10.6
33	周吉	元屋	10	1	9	0	0	0.3	7.9.3.10.4
34	周吉	飯美	13	2	11	0	0	0.7	3.10.6.4.9.7.8
35	周吉	布施	0	0	0	0	0	0.0	6.3.4.13.7.8.9
36	周吉	卯敷	19	10	8	1	0	0.5	
37	周吉	大久	47	3	35	9	0	0.6	3.10.6.7.8.9.1.11.
38	周吉	釜	5	0	5	0	0	0.3	3.10.
39	周吉	犬來	14	0	13	1	0	0.3	4.13.7.3.10.8
40	周吉	津井	7	2	5	0	0	0.3	
41	周吉	飯田	9	0	3	6	0	0.2	
42	周吉	東郷	31	8	17	6	0	0.3	
43	周吉	有木	0	0	0	0	0	0.0	3.5.10
44	周吉	大光寺	0	0	0	0	0	0.0	
45	周吉	国分寺	0	0	0	0	0	0.0	
46	周吉	原田	0	0	0	0	0	0.0	
47	周吉	上西・上東	0	0	0	0	0	0.0	
48	周吉	平	1	1	0	0	0	0.1	
49	周吉	蛸木	23	5	9	9	0	0.6	1.2.3.4.10.5.6.7.9.11.12
50	周吉	加茂	13	3	10	0	0	0.5	2.3.4.10.6.19.5.7.9.11
51	周吉	箕浦	24	5	17	2	0	1.0	1.2.3.10.11.4.7.9.8.6
52	周吉	岸浜	9	2	3	4	0	1.3	2.3.4.6.10.7.9.1.5.11
53	周吉	今津	50	7	30	13	0	1.5	1.2.3.6.7.8.9.5.4.10.11
54	周吉	西田	1	0	1	0	0	0.0	
55	周吉	下西	5	0	5	0	0	0.1	3.5.10
56	周吉	護国寺	1	0	1	0	0	0.1	
57	周吉	矢尾	77	21	56	0	0	0.7	1.2.10.3.6.4.5.7.8.11
58	周吉	目貫	47	16	31	0	0	0.5	1.2.3.14.5.10.11.7.8
59	周吉	宇屋	24	4	20	0	0	0.5	2.3.4.5.7.8.6.1.11
	合計		1031	111	470	450	2		
	全村59ヶ村の1村平均		17.5	1.9	8.0	7.6	0.0	0.3	
	島前(村No.1-13)1村平均		30.5	0.5	7.6	22.4	0.2	0.5	
	島後(村No.14-59)1村平均		13.8	2.3	8.1	3.5	0.0	0.3	
	山村13ヶ村の1村平均		0.1	0.1	0.0	0.0	0.0	0.0	
	海村46ヶ村の1村平均		22.4	2.4	10.2	9.8	0.0	0.4	

注5) 漁種No. 1 : 鯛、2 : 鯽、3 : 烏賊、4 : 鮑、5 : 海鼠、6 : 飛魚、7 : 昆布(和布)、8 : 荒和布、9 : 海苔、10 : 鯖、11 : 雑魚、12 : 鯖網敷、13 : 栄螺、14 : 蛎、15 : 鮎、16 : 鮓、17 : 蛤、18 : 蜆、19 : 鰻、20 : 鰻